

IV 学部 (履修等)



# 1 履修方法及び履修に関する心得

はじめに

学生は、「神戸大学教学規則」,「神戸大学全学共通授業科目履修規則」,「神戸大学発達科学部（以下「本学部」という。）規則」及び次に述べる各項を熟読し、定められた単位を修得し、卒業資格を得なければなりません。

## (1) 履修のあり方について

### ① 単位制度の考え方について

神戸大学では、各授業科目の単位数は、授業時間外の勉強時間も含めて、45時間の学修を必要とする内容をもって1単位の授業を構成することとなっています（神戸大学教学規則第32条）。その原則に基づいて、本学部では、授業形態に応じて授業時間あたりの単位数を定めています。例えば、講義および演習については、15時間の授業をもって、実験や実習等については、30時間の授業をもって1単位とすると定めています（本学部規則第5条）。

このことから、例えば、2単位の講義科目では、30時間分の授業を設定することが標準となっていますが、その授業科目の単位が認定されるには、合計90時間分に相当する学修が必要ということになります。学生諸君の中には、授業に全部出席すれば、それだけで単位が自動的に修得できるものと誤解している人もいるかもしれませんが、そういう認識は改めてください。授業時間に加え、自分自身での勉強の時間なども含めて、90時間分の学修の成果を測る試験に合格して、初めて2単位が修得できるものと理解してください。本学部では、その判定を厳正に行うように努めています。

### ②年間に履修できる単位数の上限について

本学部では、1年間に履修できる単位数の上限を設けています（本学部規則第7条）。これは、上で述べた単位制度の考え方に基づくと、1週間に一人の人が勉強に使える時間に上限があるので、その上限を超えて勉強するような計画を立てても、その実現は物理的に不可能なことがわかっているからです。しかし、中には、非常な努力をして、膨大な勉強時間を使ってでも多くを学ぼうとする人もいるかもしれません。その可能性を全くふさいでしまわないために、本学部で設けた履修単位の上限の設定は比較的ゆるやかなものになっています。しかし、それだからといって、むやみに可能な上限ぎりぎりまでの単位数の履修登録をすることは、意味がないばかりか、無謀だといえます。一人一人、自学自習の時間も考慮に入れた学習計画に基づいて、授業科目の履修申請を行うようにしてください。

(2) 発達科学部履修要件

発達科学部規則別表第2履修要件（第6条関係）参照

(3) 履修及び受験手続きについて

学生は、毎学期初めに配布する授業時間表により、履修しようとする授業科目を定め、授業開始後、定められた期間内に、指定する方法により登録しなければならない。登録後の履修科目の追加変更等の変更は一切認めない。

「履修・受験登録」に関する注意事項について

- 授業時間表に学年・クラスを指定されている授業科目は、その指定にしたがって履修しなければならない。なお、同一時限内にある二つの授業科目を履修申請することはできない。
- いったん修得した単位は、取り消すことはできない。

(4) 他学部の授業料日の履修について

他学部の授業科目を履修する場合も、前記の方法により登録すること。

(5) 集中講義について

集中講義についても、他の科目と同様に登録すること。詳細については、その都度指示する。

なお、他学部の集中講義を履修する場合は、各自開講学部等で開講期間を確認し、学期初めに他の科目と同様に登録すること。

(6) 試験及び単位修得の認定について

試験は各授業科目につきその授業の終了した学期末に行われるが、科目によっては随時行われることもある。不合格の場合は、改めて履修しなければ試験を受けることはできない。

履修・受験届を提出していない授業科目については、試験を受けることはできない。なお、レポートをもって試験に代える時は、その提出期限を厳守すること。

(7) 学期末試験受験上の注意事項

学期末試験を受験するときは次の事項に注意すること。

- ①試験開始 20 分以後は、試験室への入室を認めない。
- ②試験開始後は 20 分以上経過しないと退室を認めない。
- ③試験室退出後の再入室は認めない。
- ④答案には、成否にかかわらず必ず学部・学籍番号・氏名を記入すること。学部・学籍番号・氏名の記入のない答案は無効とする。
- ⑤答案は成否にかかわらず提出すること。
- ⑥答案は教室の前の教卓へ提出すること。

- ⑦試験中他人に迷惑になる行為、並びに不正行為をしてはならない。不正行為があった場合は、学部の取扱いにしたがう。
- ⑧試験中に筆記用具、その他の貸借をしてはならない。
- ⑨学生証は必ず携帯すること。

(8) 成績評価について

- ① 各担当教員は、
  - 期末試験の成績
  - 小テスト評価
  - 中間テスト評価
  - 平常点（宿題・レポート・質疑応答内容・提案・発言等）
  - 授業への出席状況
 等を用いて総合的に評価する。
- ② 評価基準は下表のとおりとする。

評 語	評 点	合 否
秀	90～100	合 格
優	80～89	
良	70～79	
可	60～69	
不可	0～59	不 合 格

(9) 「GPA」及び履修取消制度について

神戸大学では、「学位授与に関する方針」に掲げる国際的に卓越した教育を保証し、「単位の実質化」を進めるため、「G P A（Grade Point Average）」を通知する。

I. G P Aについて

「G P A」とは、下記「成績評価基準」（秀，優，良，可，不可）に基づいて評価した成績の単位数に、それぞれのG P（Grade Point）を掛けて合計したものを、履修登録を行った単位数の合計で割って計算した、1単位あたりのG P平均値（Average）です。

「成績評価基準」

評語名 (和文)	評語名 (英文)	最小点	最大点	G P
秀	S	90	100	4.3
優	A	80	89	4
良	B	70	79	3
可	C	60	69	2
不可	F	0	59	0

※「可」以上が「合格」となり、単位が取得できる。

## II. GPA計算式について

$$\text{GPA} = \frac{\text{履修登録した科目の単位数} \times \text{当該科目のGP}]{\text{履修登録した科目の単位数合計 (不可を含む)}}$$

- 履修登録した科目のうち、GPA計算式に入らない科目があります。
  - 成績を「合格」で評価する科目
  - 他大学等で単位修得し、神戸大学が「認定」とした科目
  - 履修取り消しをした科目（以下「III. 履修取消制度について」参照）
  - 資格免許のための科目
- 再履修をして合格した場合、過去の「不可」の成績は、原則としてGPA計算式に入りません。
  - 「不可」（不合格）と成績評価された科目を、再び履修登録して合格した場合、再履修した時の「不可～秀」（GP = 0～4.3）の成績がGPA計算式に入り、当該科目について過去に付いた「不可」（GP = 0）の成績が、再履修した学期以降のGPA計算式から除外されます。ただし、過去に計算されたGPA（学期）の値は変更されません。

## III. 履修取消制度について

学期初めに履修登録を行った科目について、途中で履修を中止したい場合、学期毎に設けられる履修取消期間中に、履修を取り消すことができます。

〔履修取消期間〕

前期： 5月18日～ 5月31日

後期： 11月17日～11月30日

☆履修登録や履修取消は、原則として学生自らが「うりぼーネット」(Web)で行います。

- 取り消した科目は、「履修科目一覧表」や「学業成績表」で確認でき、GPA計算式に入りません。
  - 履修取消期間中に取り消さなかった科目は、成績評価の対象となります。取り消さずに途中で履修を中止した場合、成績評価は「不可」（不合格）となり、GPA計算式に入りますので、注意してください。
  - 取り消した科目も「履修登録単位の上限（CAP制）」(\*)の単位数に入ります。  
履修登録前までに、各授業科目のシラバスで授業内容を必ず確認し、年間の履修計画をしっかりと立てた上で、履修登録と履修取消を行ってください。  
(\*「履修登録単位の上限（CAP制）」とは、年間又は学期毎に履修登録できる単位数の上限のことです。)
  - 取り消した科目は、履修取消期間終了後、その学期中に再び受講（履修）することはできません。
  - 通年開講科目は、前期でも後期でも取消が可能ですが、前期に取り消した場合、後期に再び履修登録することはできません。
- ※修学上の理由から、「履修取消ができない科目」と「履修取消期間中に取消ができない科目」があります。詳細については、所属学部・研究科毎にお知らせします。

#### IV. GPAの通知について

- ・学期毎に成績評価と「GPA」が通知されます。併せて「科目GP（単位数×GP）」と「GPA（学期）」も通知されます。
- ・通知されたGPAにより、学期毎及び在学中の成績評価の平均値を確認し、学習成果の指標とすることができます。

☆成績評価とGPAは、学生自ら「うりぼーネット」(Web)で確認できます。

例えば、下記の成績照会画面(例)では、GPAは「3.77」です。2014年度前期のGPAは「3.00」でしたが、2014年度後期のGPAは「3.22」でしたので、後期の成績評価(平均)が、前期の成績評価(平均)より上昇したことがわかります。

#### 成績照会画面(例)：「うりぼーネット」(Web) 単位修得状況照会

##### ■ GPA

GPA	科目GP合計	計算単位数	計算日
3.77	117	38	2015年3月15日

※ GPA は少数第3位を四捨五入して表示されます。

##### ■ GPA (学期)

年度	前期				後期			
	GPA (学期)	科目GPA合計	計算単位数	計算日	GPA (学期)	科目GPA合計	計算単位数	計算日
2014年度	3.00	60	20	2014年9月15日	3.22	58	18	2015年3月15日

No	区分	大区分	中区分	科目名	単位数	修得年度	修得学期	評語	科目GP	合否
1	全学共通授業科目	教養原論		○○○○○	2	2014	前期	秀	8.6	合

#### (10) 卒業研究について

卒業研究は、学部規則第13条に基づいて卒業論文を作成・提出し、卒業論文等試験に合格しなければならない。

卒業研究を行う際には4年次以降の各学期の定められた期日までに卒業研究届を提出しなければならない。その際、前出の「『卒業研究』資格判定制度」に示された基準に満たない場合には、卒業研究届を提出することができない。

作成した卒業論文は最終学期において定められた期日(3月卒業の場合には1月31日、9月卒業の場合は7月31日)までに提出しなければならない。

[卒業論文作成要領]

1. 論文は、事前に指導教員の点検を受け、卒業論文提出票（指導教員承認印を含む）とともに、1部を指定された期限までに発達科学部教務学生係に提出すること。（卒業論文提出票は、教務学生係にて配布する）
2. 論文は、A4判サイズで縦位置、横書きを基本とする。
3. 論文には、下記の参考例のとおり、論文題目、卒業研究指導教員名、所属学科・コース、学籍番号、氏名を明記した表紙を付して、仮綴りにして提出すること。
4. 様式等に関するその他の事項については、指導教員の指示に従うものとする。

参考例

卒業論文
論文題目
卒業研究指導教員
所属学科・コース・学籍番号 氏名

## 2 学科ごとの履修要件

履修要件は各学科で異なっている。以下、各学科の表に従って必要な履修手続きを行わなければならない。

### (1) 人間形成学科

#### ■ 人間を発達的に理解する

人間は、生涯を通じて、いろいろな世界やたくさんの人たちと出会い、「新しい自分」をつくりあげていきます。この点において、私たちは生涯を通じて発達していく存在といえます。

私たちは、いつの間にかさまざまな能力を獲得したり、知らぬ間にある価値観を身につけているように思います。しかし実際には、そうしたプロセスにはさまざまな発達のメカニズムが働いており、まだその内実はわかっていないことばかりです。人間形成学科では、生涯にわたる発達過程について研究し、その支援について考えていきます。

#### ■ 人間形成を支える社会や文化

人間の発達は、社会や文化のありようと無関係に進行するものではありません。たとえば、インターネットや携帯電話のなかった社会で育った子どもたちと、現代社会に生きている子どもたちとは、他の人たちとの出会い方は大きく変わっているはずですが。人間形成学科では、人として育ち、育てられるプロセスを社会－歴史的な観点から研究します。その上で、人が人間性豊かに生活し、今日の社会がかかえる問題を解決するための方途について、広く人間形成の観点から検討します。

科目名称	授業形態	配当学期								単位数	必修・選択の別			備考
		1年		2年		3年		4年			必修	選必	自由	
		前	後	前	後	前	後	前	後					
[教養原論]														
人間形成と思想の分野を除く各授業科目	講義	○	○	○	○					各2		18		
[外国語科目]														
英語リーディングⅠ	演習	○								1	1			
英語リーディングⅡ	演習		○							1	1			
英語リーディングⅢ	演習			○						1	1			
英語オーラルⅠ	演習	○								1	1			
英語オーラルⅡ	演習		○							1	1			
英語オーラルⅢ	演習			○						1	1			
英語アドバンストA	演習			○						1			1	
英語アドバンストB	演習			○						1			1	
英語アドバンストC	演習			○						1			1	
独語ⅠA,仏語ⅠA,中国語ⅠA,ロシア語ⅠA	演習	○								1		1		
独語ⅠB,仏語ⅠB,中国語ⅠB,ロシア語ⅠB	演習	○								1		1		
独語ⅡA,仏語ⅡA,中国語ⅡA,ロシア語ⅡA	演習		○							1		1		
独語ⅡB,仏語ⅡB,中国語ⅡB,ロシア語ⅡB	演習		○							1		1		
独語ⅢA,仏語ⅢA,中国語ⅢA,ロシア語ⅢA	演習			○						1			1	
独語ⅢB,仏語ⅢB,中国語ⅢB,ロシア語ⅢB	演習				○					1			1	
独語ⅣA,仏語ⅣA,中国語ⅣA,ロシア語ⅣA	演習					○				1			1	
独語ⅣB,仏語ⅣB,中国語ⅣB,ロシア語ⅣB	演習						○			1			1	
独語SA,仏語SA,中国語SA	演習		○							1			1	
独語SB,仏語SB,中国語SB	演習		○							1			1	
独語XI,仏語XI,韓国語XI,スペイン語XI,イタリア語XI	演習			○						1			1	
独語XII,仏語XII,韓国語XII,スペイン語XII,イタリア語XII	演習				○					1			1	

[情報科目]										
情報基礎	講義	○						1	1	
[健康・スポーツ科学]										
健康・スポーツ科学講義	講義	○						2		2
健康・スポーツ科学実習Ⅰ	実習	○						1	1	
健康・スポーツ科学実習Ⅱ	実習	○						1		1
[学部共通科目]										
発達科学への招待	講義	○						2	2	
ESD演習Ⅰ(環境発達学)	演習		○					2		2
ESD演習Ⅱ(環境発達学)	演習			○				2		2
ESD実践論	講義				○			2		2
異文化理解	講義	○						2		2
海外実習A	実習							1		1
海外実習B	実習							2		2
外国語実習	実習							1		1
海外インターンシップ実習	実習							1		1
[学科共通科目]※32単位必要										
心理学入門	講義	○						2	2	
発達心理学概論	講義		○					2	2	
子ども発達論	講義	○						2	2	
子ども教育論	講義		○					2	2	
教育学概論	講義	○						2	2	
道徳教育論	講義			○				2	2	
乳幼児発達論	講義			○				2		
幼児精神衛生論	講義				○			2		
児童心理学	講義		○					2		
青年心理学	講義			○				2		
児童青年精神医学	講義			○				2		
発達障害心理学1	講義		○					2		
発達障害臨床学1	講義		○					2		
教育心理学	講義		○					2		
相談心理学	講義			○				2		
臨床心理学	講義		○					2		
カウンセリング	講義				○			2	20	
認知発達論	講義			○				2		
異文化教育論	講義	○						2		
算数教育論	講義			○				2		
初等体育論	講義			○				2		
音楽表現発達論	講義			○				2		
造形表現発達論	講義			○				2		
児童言語教育論	講義			○				2		
生涯学習論	講義	○						2		
教育ディベート入門	講義		○					2		
教育人間学	講義			○				2		
教職論	講義		○					2		
教育制度概説	講義			○				2		
科学技術社会と教育	講義				○			2		
情報化社会と教育	講義				○			2		
初等社会科教育論	講義				○			2		
人間形成学特講	講義				○			2		集中
発達支援論研究	講義			○				2		

科目名称	授業形態	配当学期								単位数	必修・選択の別			備考
		1年		2年		3年		4年			必修	選必	自由	
		前	後	前	後	前	後	前	後					
[心理発達論コース専門科目]														
心理学研究法 1A	演習		○							2	2			
心理学研究法 1B	演習			○						2	2			
心理学研究法 2A	演習				○					2	2			
心理学研究法 2B	演習					○				2	2			
心理学研究法 3A	演習						○			2	2			
心理学研究法 3B	演習							○		2	2			
外書講読	演習		○							2	2			
心理検査法 1	演習			○						2	2			
心理検査法 2	演習				○					2				
心理検査法 3	演習					○				2				
心理統計法 1	講義		○							2				
心理統計法 2	講義			○						2				
生涯発達心理学	講義				○					2				
人格形成論	講義				○					2				
人間関係発達論	講義		○							2				
教育発達心理学	講義			○						2				
深層心理学	講義			○						2				
障害児発達学	講義			○						2				
発達障害心理学 2	講義			○						2		24		
発達障害臨床学 2	講義			○						2				
科学教育論	講義			○						2				
障害児指導学	講義					○				2				
子ども社会論	講義		△		△					2				集中・隔年
心理発達論演習 A	演習				○					2				
心理発達論演習 B	演習				○					2				
心理発達論演習 C	演習					○				2				
知的障害の心理・生理・病理演習	演習					○				2				
[卒業研究]														
卒業研究								◎		10	10			

注：◎ 通年授業      ○ 半期授業      △ 隔年開講授業

科目名称	授業形態	配当学期								単位数	必修・選択の別			備考	
		1年		2年		3年		4年			必修	選必	自由		
		前	後	前	後	前	後	前	後						
[子ども発達論コース専門科目]															
子どもの発達	講義		○							2	2				
子どもの心と教育	講義		○							2	2				
子どもと生活	講義			○						2	2				
子どものからだづくり	講義		○							2	2				
子どもの認識	講義			○						2	2				
子どもの表現	講義		○							2	2				
子どもの表現教育	講義			○						2	2				
子どもとメディア	講義			○						2	2				
子どもの発達支援	講義			○						2	2				
外書講読	演習					○				2	2				
子ども発達論演習 1	演習				○					2	2				
子ども発達論演習 2	演習					○				2	2				
子ども発達研究法 1	演習						○			2	2				
子ども発達研究法 2	演習							○		2	2				
数理認識発達論	講義					○				2		12			
子どもスポーツ論	講義				○					2					
幼年音楽論	講義					○				2					
美術教育史論	講義					○				2					
乳幼児認知発達論	講義					○				2					
造形発達論	講義						○			2					
児童文学論	講義						○			2					
児童福祉論	講義			△		△				2					集中・隔年
子ども社会論	講義			△		△				2					集中・隔年
心理統計法 1	講義			○						2					
心理統計法 2	講義				○					2					
人間関係発達論	講義			○						2					
教育制度	講義				○					2					
健康行動科学	講義					○				2					
異言語指導論	講義				○					2					
[卒業研究]															
卒業研究								◎		10	10				

注：◎ 通年授業      ○ 半期授業      △ 隔年開講授業

科目名称	授業形態	配当学期								単位数	必修・選択の別			備考	
		1年		2年		3年		4年			必修	選択	自由		
		前	後	前	後	前	後	前	後						
[教育科学論コース専門科目]															
教育学研究法 1	演習		○							2	2				
教育学研究法 2	演習			○						2	2				
教育学研究法 3	演習		○							2	2				
教育学研究法 4	演習			○						2	2				
教育学研究法 5	演習		○							2	2				
教育学研究法 6	演習			○						2	2				
教育学研究法 7	演習		○							2	2				
教育学研究法 8	演習			○						2	2				
外書講読	演習			○						2	2				
教育科学論演習 1	演習				○					2	2				
教育科学論演習 2	演習					○				2	2				
教育科学研究 1	演習						○			2	2				
教育科学研究 2	演習							○		2	2				
教育思想史	講義			○						2		14			
日本教育史	講義		○							2					
教育制度	講義			○						2					
教育法	講義				○					2					
教育政策	講義		○							2					
教育行政学	講義			○						2					
教育方法学	講義		○							2					
学習指導論	講義		○							2					
生活指導論	講義				○					2					
科学教育論	講義			○						2					
カリキュラム論	講義		○							2					
社会科教育方法論	講義		○							2					
社会教育論	講義		○							2					
社会教育計画論	講義			○						2					
授業デザイン論	講義		○							2					
教師教育史論	講義				○					2					
教育哲学	講義		○							2					
子どもの表現	講義		○							2					
造形発達論	講義					○				2					
異言語指導論	講義					○				2					
[卒業研究]															
卒業研究								◎		10	10				

注：◎ 通年授業      ○ 半期授業

科目名称	授業形態	配当学期				単位数	必修・選択の別			備考				
		1年		2年			3年		4年		必修	選必	自由	
		前	後	前	後		前	後	前					後
[学校教育論コース専門科目]														
教育哲学	講義		○			2	2							
学習指導論	講義		○			2	2							
教育政策	講義		○			2	2							
幼児教育内容論	講義			○		2	2							
学習障害等教育総論	講義		○			2	2							
異言語指導論	講義		○			2	2							
学校教育資料調査法	演習				○	2	2							
子ども発達論演習 1	演習			○		2		2						
教育科学論演習 1	演習			○		2		2						
子ども発達論演習 2	演習				○	2		2						
教育科学論演習 2	演習				○	2		2						
子ども発達研究法 1	演習					○	2	2						
教育科学研究 1	演習					○	2	2						
子ども発達研究法 2	演習						○	2	2					
教育科学研究 2	演習						○	2	2					
教育思想史	講義		○			2								
自然教育論	講義		○			2								
生活科教育論	講義		○			2								
初等家政学概論	講義				○	2								
国語教育方法論	講義		○			2								
社会科教育方法論	講義		○			2								
理科教育方法論	講義				○	2								
算数教育方法論	講義			○		2								
生活科教育方法論	講義		○			2								
家庭科教育方法論	講義				○	2								
音楽表現教育方法論	講義		○			2								
造形表現教育方法論	講義			○		2								
運動教育方法論	講義				○	2			26					
幼児音楽表現指導法	講義				○	2								
幼児造形表現指導法	講義				○	2								
幼児環境指導法	講義		○			2								
幼児健康指導法	講義			○		2					集中			
幼児人間関係指導法	講義			○		2								
幼児言語表現指導法	講義			○		2								
教師教育史論	講義				○	2								
教育法	講義				○	2								
教育行政学	講義			○		2								
教育方法学	講義		○			2								
生活指導論	講義				○	2								
カリキュラム論	講義		○			2								
授業デザイン論	講義		○			2								
特別活動指導法	講義			○		2								

特別支援教育学	演習				○		2				
障害児発達学	講義			○			2				
障害児指導学	講義				○		2				
視覚障害児発達学	演習				○		2				
発達障害心理学 2	講義			○			2				
発達障害臨床学 2	講義			○			2				
特別支援教育総論	講義			○			2				
児童文学論	講義					○	2				
[卒業研究]											
卒業研究						◎	10	10			

注：◎ 通年授業      ○ 半期授業

## (2) 人間行動学科

人間行動学科では、人間の行動を既存の領域とは異なる視点から教育・研究します。新しい人間行動の探求には、人間の複雑かつ多様な行動を科学的に究明し、正しく理解することが重要です。このため、本学科では人間の行動原理と人間の行動を取り巻く環境や文化を学ぶことに興味と関心を持っている学生に対して、人間行動を自然科学・社会科学の両面から分析・考察・理解する能力と豊かな生活を創造するための実践力を身につけることができるように、健康発達論、行動発達論および身体行動論の3つのコースを設置しています。健康発達論コースでは生涯の各ステージにおける健康課題の解決策を、行動発達論コースでは人間行動の発達と適応を多角的に解明・理解する能力と実践力を、身体行動論コースでは運動・スポーツなど身体行動の仕組みや原理の探求から活動的なライフスタイルの構築をそれぞれ目指します。また、各コースのカリキュラムは他領域の授業を積極的に取り組み、多くの視点から人間行動を検討することが可能なように工夫されています。この学科では、新しい自分を見つけ、社会に貢献する能力を身につけて下さい。

科目名称	授業形態	配当学期								単位数	必修・選択の別			備考
		1年		2年		3年		4年			必修	選必	自由	
		前	後	前	後	前	後	前	後					
[教養原論]														
各授業科目	講義	○	○	○	○					各2		18		
[外国語科目]														
英語リーディングⅠ	演習	○								1	1			
英語リーディングⅡ	演習		○							1	1			
英語リーディングⅢ	演習			○						1	1			
英語オーラルⅠ	演習	○								1	1			
英語オーラルⅡ	演習		○							1	1			
英語オーラルⅢ	演習			○						1	1			
英語アドバンストA	演習			○						1			1	
英語アドバンストB	演習			○						1			1	
英語アドバンストC	演習			○						1			1	
独語ⅠA,仏語ⅠA,中国語ⅠA,ロシア語ⅠA	演習	○								1		1		
独語ⅠB,仏語ⅠB,中国語ⅠB,ロシア語ⅠB	演習	○								1		1		
独語ⅡA,仏語ⅡA,中国語ⅡA,ロシア語ⅡA	演習		○							1		1		
独語ⅡB,仏語ⅡB,中国語ⅡB,ロシア語ⅡB	演習		○							1		1		
独語ⅢA,仏語ⅢA,中国語ⅢA,ロシア語ⅢA	演習			○						1			1	
独語ⅢB,仏語ⅢB,中国語ⅢB,ロシア語ⅢB	演習				○					1			1	
独語ⅣA,仏語ⅣA,中国語ⅣA,ロシア語ⅣA	演習					○				1			1	
独語ⅣB,仏語ⅣB,中国語ⅣB,ロシア語ⅣB	演習						○			1			1	
独語SA,仏語SA,中国語SA	演習		○							1			1	
独語SB,仏語SB,中国語SB	演習		○							1			1	
独語XI,仏語XI,韓国語XI,スペイン語XI,イタリア語XI	演習			○						1			1	
独語XII,仏語XII,韓国語XII,スペイン語XII,イタリア語XII	演習				○					1			1	
[情報科目]														
情報基礎	講義	○								1	1			
[健康・スポーツ科学]														
健康・スポーツ科学講義	講義		○							2				2
健康・スポーツ科学実習Ⅰ	実習	○								1	1			
健康・スポーツ科学実習Ⅱ	実習		○							1				1

[学部共通科目]											
発達科学への招待	講義	○						2	2		
ESD演習 I (環境発達学)	演習		○					2		2	
ESD演習 II (環境発達学)	演習			○				2		2	
ESD実践論	講義				○			2		2	
異文化理解	講義	○						2		2	グローバル専門科目
海外実習A	実習							1		1	認定科目
海外実習B	実習							2		2	認定科目
外国語実習	実習							1		1	認定科目
海外インターンシップ実習	実習							1		1	認定科目
[学科共通科目] ※26単位必要											
健康発達概論	講義	○						2	2		
行動発達概論	講義	○						2	2		
身体行動概論	講義	○						2	2		
社会調査法	講義		○					2			
エイジング論	講義		○					2			
生涯スポーツ論	講義		○					2			
人体構造機能論	講義		○					2			
健康管理論	講義		○					2			
身体機能加齢論	講義		○					2			
身体運動のしくみ	講義		○					2			
からだの構造と運動	講義		○					2		20	
身体文化論	講義			○				2			
健康教育論	講義			○				2			
健康評価論	講義			○				2			
身体運動発達論	講義				○			2			
人間行動特論A	講義				△	△		2			隔年
人間行動特論B	講義				△	△		2			隔年
発達支援論研究	講義				○			2			

注：◎ 通年授業      ○ 半期授業      △ 隔年開講授業

科目名称	授業形態	配当学期				単位数	必修・選択の別			備考
		1年	2年	3年	4年		必修	選必	自由	
		前	後	前	後					
[健康発達論コース専門科目] ※30単位必要										
ヘルスプロモーション論	講義			○			2			
公衆衛生学	講義		○				2			
健康統計学	講義		△	△			2			隔年
健康行動科学	講義			○			2			
安全行動・管理論	講義		△	△			2			隔年
予防医学概説	講義			△	△		2			隔年
救急医療概説	講義		△	△			2			隔年
健康環境論	講義				○		2			
健康政策論	講義				○		2			
国際健康開発論	講義		△	△			2			隔年
身体適応論	講義			○			2			
身体運動システム論	講義		○				2			
認知発達論	講義			○			2		28	
人間関係発達論	講義		○				2			
臨床心理学	講義			○			2			
カウンセリング	講義			○			2			
子どもの発達支援	講義			○			2			
衣環境学1	講義		○				2			
栄養学	講義			△	△		2			隔年
生活環境共生論1	講義		○				2			
生活環境心理学	講義			○			2			
応用統計学A	講義			△	△		2			隔年
健康行動科学演習1	演習					○	2			
健康増進科学演習1	演習					○	2			
健康環境論演習1	演習					○	2		2	
健康政策論演習1	演習					○	2			
ヘルスプロモーション論演習1	演習					○	2			
健康行動科学演習2	演習					○	2			
健康増進科学演習2	演習					○	2			
健康環境論演習2	演習					○	2		2	
健康政策論演習2	演習					○	2			
ヘルスプロモーション論演習2	演習					○	2			
健康発達研究法	演習				○		2	2		
[卒業研究]										
卒業研究						◎	10	10		

注：◎ 通年授業      ○ 半期授業      △ 隔年開講授業

科目名称	授業形態	配当学期				単位数	必修・選択の別			備考
		1年	2年	3年	4年		必修	選必	自由	
		前	後	前	後					
[行動発達論コース専門科目] ※30単位必要										
行動発達研究法	演習		○			2				
行動適応論	講義		○			2				
運動処方論	講義		○			2				
身体運動システム論	講義		○			2				
ヘルスプロモーション論	講義		○			2				
予防医学概説	講義			△	△	2				隔年
身体適応論	講義		○			2				
スポーツプロモーション論	講義		○			2				
運動心理学	講義		○			2				
身体運動制御論	講義		○			2				
栄養学	講義			△	△	2				隔年
乳幼児発達論	講義		○			2			26	
臨床心理学	講義		○			2				
エイジング論演習1	演習			○		2				
身体機能加齢論演習1	演習			○		2			2	
身体適応論演習1	演習			○		2				
アクティブエイジング研究演習1	演習			○		2				
行動適応論演習1	演習			○		2				
健康行動科学	講義			○		2				
エイジング論演習2	演習			○		2				
身体機能加齢論演習2	演習			○		2			2	
身体適応論演習2	演習			○		2				
アクティブエイジング研究演習2	演習			○		2				
行動適応論演習2	演習			○		2				
バイオメカニクス実験	実験			○		2				
健康政策論	講義			○		2				
行動発達演習1	演習				○	2	2			
行動発達演習2	演習				○	2	2			
[卒業研究]										
卒業研究						◎	10	10		

注：◎ 通年授業      ○ 半期授業      △ 隔年開講授業

科目名称	授業形態	配当学期				単位数	必修・選択の別			備考
		1年	2年	3年	4年		必修	選必	自由	
		前	後	前	後					
[身体行動論コース専門科目] ※30単位必要										
体育・スポーツ史	講義			○		2				
スポーツ社会学	講義		○			2				
スポーツマネジメント論	講義			△	△	2				隔年
スポーツプロモーション論	講義		○			2				
運動心理学	講義		○			2				
身体運動技術論	講義		○			2				
運動処方論	講義		○			2				
体力科学論	講義		○			2				
身体適応論	講義		○			2				
身体運動制御論	講義		○			2				
子どものからだづくり	講義			○		2				
身体運動システム論	講義		○			2			30	
健康行動科学	講義			○		2				
運動生理学実験	実験			○		2				
バイオメカニクス実験	実験			○		2				
陸上運動方法論	実習		○			1				
水泳系運動方法論	実習		○			1				
球技運動方法論	実習			○		1				
武道系運動方法論	実習			○		1			4	
舞踊運動方法論	実習			△	△	1				隔年
体操運動方法論	実習			△	△	1				隔年
野外運動方法論	実習		○			2				通年, 不定期開講
体育・スポーツ史研究法	演習			○		2				
スポーツ社会学研究法	演習			○		2				
運動心理学研究法	演習			○		2				
体育・スポーツ史演習	演習			○		2				
スポーツ社会学演習	演習			○		2				
運動心理学演習	演習			○		2				
身体運動技術論演習	演習			○		2			2	
身体運動制御論演習	演習			○		2				
運動処方論演習	演習			○		2				
体力科学論演習	演習			○		2				
身体運動システム論演習	演習			○		2				
[卒業研究]										
卒業研究						◎	10	10		

注：◎ 通年授業      ○ 半期授業      △ 隔年開講授業

### (3) 人間表現学科

私たち人間は、長い歴史にわたって、その時々々の環境のもとで様々な表現を行い、その時代に固有の文化を生み出してきました。とりわけ、音楽や造形、舞踊といった文化的形態での創造的表現は極めて人間的な行為であり、人間の発達や変容にとって欠かすことのできない重要な営みです。人間表現学科では、こういった人間の創造表現の本質を、表現に関わる文化や創造実践、またそれらの基盤となる感性といった多様な視点から総合的に探求します。

人間表現学科の学生は、1年次から、人間の創造表現に関する概論を中心とする第1群（文化・芸術に関する横断的科目）をバランスよく履修し、人間の表現に関わる問題群へアプローチするためのさまざまな考え方や方法を多面的に学びます。こうした一連の学習を通じて学ぶ方向性を見定めながら、2年次からは第2群（文化・芸術に関する専門的科目）に軸足を置いて、より専門的に学んでいきます。このように、人間表現学科では、人間の創造表現の本質に関して、多様な視点による総合的かつ柔軟な探究ができるようカリキュラムが組まれています。

科目名称	授業形態	配当学期								単位数	必修・選択の別			備考
		1年		2年		3年		4年			必修	選必	自由	
		前	後	前	後	前	後	前	後					
[教養原論]														
各授業科目	講義	○	○	○	○					各2		18		
[外国語科目]														
英語リーディングⅠ	演習	○								1	1			
英語リーディングⅡ	演習		○							1	1			
英語リーディングⅢ	演習			○						1	1			
英語オーラルⅠ	演習	○								1	1			
英語オーラルⅡ	演習		○							1	1			
英語オーラルⅢ	演習			○						1	1			
英語アドバンストA	演習			○						1			1	
英語アドバンストB	演習			○						1			1	
英語アドバンストC	演習			○						1			1	
独語ⅠA,仏語ⅠA,中国語ⅠA,ロシア語ⅠA	演習	○								1		1		
独語ⅠB,仏語ⅠB,中国語ⅠB,ロシア語ⅠB	演習	○								1		1		
独語ⅡA,仏語ⅡA,中国語ⅡA,ロシア語ⅡA	演習		○							1		1		
独語ⅡB,仏語ⅡB,中国語ⅡB,ロシア語ⅡB	演習		○							1		1		
独語ⅢA,仏語ⅢA,中国語ⅢA,ロシア語ⅢA	演習			○						1			1	
独語ⅢB,仏語ⅢB,中国語ⅢB,ロシア語ⅢB	演習				○					1			1	
独語ⅣA,仏語ⅣA,中国語ⅣA,ロシア語ⅣA	演習					○				1			1	
独語ⅣB,仏語ⅣB,中国語ⅣB,ロシア語ⅣB	演習						○			1			1	
独語SA,仏語SA,中国語SA	演習		○							1			1	
独語SB,仏語SB,中国語SB	演習		○							1			1	
独語XI,仏語XI,韓国語XI,スペイン語XI,イタリア語XI	演習			○						1			1	
独語XII,仏語XII,韓国語XII,スペイン語XII,イタリア語XII	演習				○					1			1	
[情報科目]														
情報基礎	講義	○								1	1			
[健康・スポーツ科学]														
健康・スポーツ科学講義	講義		○							2			2	
健康・スポーツ科学実習Ⅰ	実習	○								1	1			
健康・スポーツ科学実習Ⅱ	実習		○							1			1	
[学部共通科目]														
発達科学への招待	講義	○								2	2			

ESD演習 I (環境発達学)	演習		○					2		2	
ESD演習 II (環境発達学)	演習		○					2		2	
ESD実践論	講義				○			2		2	
異文化理解	講義	○						2		2	グローバル専門組
海外実習A	実習							1		1	認定科目
海外実習B	実習							2		2	認定科目
外国語実習	実習							1		1	認定科目
海外インターンシップ実習	実習							1		1	認定科目
[第1群(文化・芸術に関する横断的科目)]											
人間表現概論 1	講義	○						2	2		
人間表現概論 2	講義	○						2	2		
舞台芸術論	講義				○			2			
メディア論	講義				○			2			
資料調査法	演習	○						2			
感性表現論 1	講義		○					2			
図学	講義			○				2			
サブカルチャー論	講義	○						2			
表現の政治学	講義				○			2			
アートマネジメント	講義				○			2			
創造の発想とプロセス A	演習	○						2			
創造の発想とプロセス B	演習		○					2			
サウンドデザイン	講義	○						2			
人と音楽	講義		○					2		24	
表現創造演習 (企画)	演習			○				2			
表現創造演習 (総合)	演習				○			2			
音楽療法論 1	講義		○					2			
声の表現	演習	○						2			
身体表現論	講義		○					2			
場所の文化史	講義		○					2			
表象文化論	講義			○				2			
子どもの表現	講義		○					2			
遊びと芸術	講義	○						2			
表現ワークショップ論	講義				○			2			
心理学入門	講義	○						2			
生涯学習論	講義	○						2			
発達支援論研究	講義			○				2			
[第2群(文化・芸術に関する専門的科目)]											
人間の発達と表現演習 1	演習				○			2	2		
人間の発達と表現演習 2	演習				○			2	2		
デザイン史	講義			△	△			2			隔年
都市と建築の 20 世紀	講義			○				2			
都市と建築の 20 世紀演習	演習				○			2			
ファッション文化論	講義				○			2			
ファッション文化論演習	演習					○		2			
西洋音楽文化論	講義		○					2			
西洋音楽文化論演習	演習			○				2			
映像論	講義				○			2			



#### (4) 人間環境学科

人間環境学科の教育研究には、3つの特色があります。まず第1は、学際性・総合性です。今日の人間環境問題は、もはや個別のせまい専門分野の知識だけではとても解決することができません。人間環境学科は、文系と理系の枠を超え、多様な専門分野の知識を学ぶとともに、それらの統合・融合を積極的にはかり、幅広い視野とユニークな視点をもった人材を育成します。

第2は、高度な専門性です。総合的な学部は、しばしば「広く浅く」ととどまりがちです。しかし、人間環境学科は、自然環境、数理情報環境、生活環境、社会環境の4つのコースを擁し、各コースごとに充実した基礎・専門教育を行います。学生時代のすぐれた卒業研究の成果が、大学院進学後、専門学会で発表されることも珍しくありません。

第3は、つねに最先端の課題に、アクティブに取り組んでいることです。人間環境学科では、講義するだけでなく、さまざまな実験、実習、演習、調査、フィールドワークを重視します。机上の空論に陥ることなく、新たな人間環境の創造に向けて、実証的・実践的な問題解決へのアプローチを行います。

科目名称	授業形態	配当学期								単位数	必修・選択の別			備考
		1年		2年		3年		4年			必修	選必	自由	
		前	後	前	後	前	後	前	後					
[教養原論]														
各授業科目	講義	○	○	○	○					各2		14		
[外国語科目]														
英語リーディング I	演習	○								1	1			
英語リーディング II	演習		○							1	1			
英語リーディング III	演習			○						1	1			
英語オーラル I	演習	○								1	1			
英語オーラル II	演習		○							1	1			
英語オーラル III	演習			○						1	1			
英語アドバンストA	演習			○						1			1	
英語アドバンストB	演習			○						1			1	
英語アドバンストC	演習			○						1			1	
独語 I A, 仏語 I A, 中国語 I A, ロシア語 I A	演習	○								1		1		
独語 I B, 仏語 I B, 中国語 I B, ロシア語 I B	演習	○								1		1		
独語 II A, 仏語 II A, 中国語 II A, ロシア語 II A	演習		○							1		1		
独語 II B, 仏語 II B, 中国語 II B, ロシア語 II B	演習		○							1		1		
独語 III A, 仏語 III A, 中国語 III A, ロシア語 III A	演習			○						1			1	
独語 III B, 仏語 III B, 中国語 III B, ロシア語 III B	演習				○					1			1	
独語 IV A, 仏語 IV A, 中国語 IV A, ロシア語 IV A	演習					○				1			1	
独語 IV B, 仏語 IV B, 中国語 IV B, ロシア語 IV B	演習						○			1			1	
独語 SA, 仏語 SA, 中国語 SA	演習		○							1			1	
独語 SB, 仏語 SB, 中国語 SB	演習		○							1			1	
独語 XI, 仏語 XI, 韓国語 XI, スペイン語 XI, イタリア語 XI	演習			○						1			1	
独語 XII, 仏語 XII, 韓国語 XII, スペイン語 XII, イタリア語 XII	演習				○					1			1	
[情報科目]														
情報基礎	講義	○								1	1			
[健康・スポーツ科学]														
健康・スポーツ科学講義	講義		○							2			2	
健康・スポーツ科学実習 I	実習	○								1	1			
健康・スポーツ科学実習 II	実習		○							1			1	

[学部共通科目]												
発達科学への招待	講義	○							2	2		
ESD演習Ⅰ(環境発達学)	演習		○						2		2	
ESD演習Ⅱ(環境発達学)	演習			○					2		2	
ESD実践論	講義				○				2		2	
異文化理解	講義	○							2		2	グローバル専門科目
海外実習A	実習								1		1	認定科目
海外実習B	実習								2		2	認定科目
外国語実習	実習								1		1	認定科目
海外インターンシップ実習	実習								1		1	認定科目
[学科共通科目]												
人間環境学概論	講義	○							2	2		
自然環境概論	講義	○							2		6	
数理情報環境概論	講義	○							2			
生活環境概論	講義	○							2			
社会環境概論	講義	○							2			
統計の考え方	講義		○						2		2	
環境モデリング入門	講義			○					2			
高齢者環境論	講義				○				2		2	
エコロジー論	講義					○			2			
発達支援論研究	講義			○					2		2	
[共通専門基礎科目] ※自然環境論・数理情報環境論コースは14単位以上選択, 生活環境論コース・社会環境論は8単位以上選択												
物理学B1	講義	○							2		8 又 は 14	
物理学B2	講義	○							2			
物理学B3	講義		○						2			
物理学C1	講義	○							2			
物理学C2	講義	○							2			
物理学C3	講義	○							2			
物理学C4	講義		○						2			
物理学実験	実験		○						2			
無機化学基礎	講義	○							2			
有機化学基礎	講義		○						2			
生物学Ⅰ	講義	○							2			
生物学Ⅱ	講義		○						2			
生物学Ⅲ	講義		○						2			
基礎地学	講義	○							2			
線形代数学入門	講義	○							2			
線形代数学1	講義	○							2			
線形代数学2	講義		○						2			
微分積分学入門	講義		○						2			
微分積分学1	講義	○							2			
微分積分学2	講義		○						2			
数理統計学	講義			○					2			
法律学	講義		△		△				2			隔年

経済学	講義	△	△				2		隔年
政治学	講義	△	△				2		隔年
人文地理学	講義		△	△			2		隔年
外国史	講義	△	△				2		隔年
社会学	講義		○				2		
日本史	講義		△	△			2		隔年
倫理学	講義	○					2		

注：◎ 通年授業      ○ 半期授業      △ 隔年開講授業

科目名称	授業形態	配当学期				単位数	必修・選択の別			備考				
		1年		2年			3年		4年					
		前	後	前	後		前	後	前		後			
[自然環境論コース専門科目]														
自然環境科学実験A(主として地学)	実験			○					2	2				
自然環境科学実験B(主として生物学)	実験		○						2	2				
自然環境科学実験C(主として化学)	実験			○					2	2				
自然環境科学	講義		○						2		12			
環境地球科学 A	講義		○						2					
環境地球科学 B	講義			○					2					
現代物質科学	講義		○						2					
現代物理化学 A	講義			○					2					
現代物理化学 B	講義				○				2					
現代生命科学 A	講義			○					2					
現代生命科学 B	講義				○				2					
環境物理学実験	実験					○			2			4		
物質環境科学実験	実験				○				2					
生物環境科学実験	実験					○			2					
地球環境科学実験	実験				○				2					
野外生物学実習	実験				○				2				集中	
分子生命科学実習	実験					○			2				集中	
宇宙史	講義			○					2					
環境遺伝学	講義				○				2				集中	
鉱物学	講義		○						1				集中	
地球環境科学特別講義 A	講義				○				1				集中	
地球環境科学特別講義 B	講義					○			1				集中	
宇宙環境物理学	講義				○				2					
無機化学	講義				○				2					
環境植物生態学	講義				○				2					
科学哲学論	講義				○				2					
大気環境学	講義		△		△				2		38		隔年	
環境地球化学・同演習 A	講演				○				2					
環境地球化学・同演習 B	講演						○		2					
環境計測学 A	講義		△		△				2				隔年	
環境計測学 B	講義			△		△			2				隔年	
植物環境学 1	講義		○						2					
植物環境学 2	講義			○					2					
生活環境緑化論 1	講義			○					2					
生活環境緑化論 2	講義				○				2					
環境経済学	講義				○				2					
公衆衛生学	講義				○				2					
身体適応論	講義					○			2					
環境物理学	講義					○			2					
量子物理学	講義					○			2					
基本粒子物理学	講義					○			1					

分析化学	講義				○		2		
環境有機化学	講義				○		2		
生物有機化学	講義				○		2		
化学反応論	講義			○			2		
量子化学	講義				○		2		
高次分子生命科学	講義				○		2		
生物環境科学	講義				○		2		
動物行動生態学	講義				○		2		
生物多様性論	講義		△	△			2		隔年
環境地質学・同演習 1	講演				○		2		
環境地質学・同演習 2	講演					○	2		
地球流体力学	講義			○			2		
自然環境科学特論 A	講義		△	△			1		集中, 隔年
自然環境科学特論 B	講義		△	△			1		集中, 隔年
自然科学演習	講演	○					1		
自然科学総合演習	講演		○				1		
自然環境総合演習	講演		○				1		
人間環境学総合演習	講演				◎		2		
現代物質科学演習	演習					○	1		
環境物理学特別演習	演習					◎	2		
情報処理演習	講演		○				1		集中
環境数値解析 1	講演			○			2		
環境数値解析 2	講演				○		1		集中
生命情報科学 A	講義			△	△		1		隔年
生命情報科学 B	講義			△	△		1		隔年
応用数学入門・同演習	講演		○				2		
数理の基礎	講義		○				4		
解析系の基礎	講義			○			2		
数理統計の基礎	講義			○			2		
応用解析学 A	講義				△	△	2		隔年
応用解析学 B	講義				△	△	2		隔年
応用統計学 A	講義				△	△	2		隔年
応用統計学 B	講義				△	△	2		隔年
情報環境科学 A	講義					○	2		
情報環境科学 B	講義					○	2		
情報環境科学 C	講義					○	2		
[卒業研究]									
卒業研究						◎	10	10	

注：◎ 通年授業      ○ 半期授業      △ 隔年開講授業

科目名称	授業形態	配当学期				単位数	必修・選択の別			備考	
		1年		2年			3年		4年		
		前	後	前	後		前	後	前		後
[数理情報環境論コース専門科目]											
数理の基礎	講義		○					4	4		
数理と計算機	講義			○				2	2		
計算機科学 A	講義		○					2	2		
計算機科学 B	講義		○					2	2		
幾何系の基礎	講義			○				2			
解析系の基礎	講義			○				2			
代数系の基礎	講義			○				2			
数理統計の基礎	講義			○				2			
応用代数学	講義				○			2			
数理と論証	講義				○			2			
計算機数学	講義				○			2			
応用解析学 A	講義				△		△	2			隔年
応用解析学 B	講義				△		△	2			隔年
応用幾何学 A	講義				△		△	2			隔年
応用幾何学 B	講義				△		△	2			隔年
応用統計学 A	講義				△		△	2			隔年
応用統計学 B	講義				△		△	2			隔年
応用統計学 C	講義				○			2			
数理情報先端特論	講義					○		2			
情報環境科学 A	講義					○		2			
情報環境科学 B	講義					○		2			
情報環境科学 C	講義					○		2			
代数学Ⅱ	講義					○		2		34	
解析学Ⅲ	講義				○			2			
幾何学Ⅲ	講義					○		2			
確率論Ⅰ	講義					○		2			
環境経済学	講義				○			2			
生命情報科学 A	講義				△		△	1			隔年
生命情報科学 B	講義				△		△	1			隔年
生活環境メカニクス 1	講義			○				2			
生活環境メカニクス実験	実験						○	2			
生活環境電子計測論 1	講義		○					2			
ヒューマンエレクトロニクス実験	実験			○				2			
数理認識発達論	講義					○		2			
社会調査法	講義			○				2			
メディア論	講義				○			2			
応用数理特論 1	講義					○		2		2	
情報環境特論 1	講義				○			2			
応用数理特論 2	講義						○	2		2	
情報環境特論 2	講義						○	2			
応用数理特論 3	講義						○	2		2	
情報環境特論 3	講義						○	2			

[卒業研究]										
卒業研究						◎	10	10		

注：◎ 通年授業      ○ 半期授業      △ 隔年開講授業

科目名称	授業形態	配当学期				単位数	必修・選択の別			備考				
		1年		2年			3年		4年		必修	選択	自由	
		前	後	前	後		前	後	前					後
[生活環境論コース専門科目]														
生活環境基礎実験	実験			○					2	2				
生活環境調査法	講義		○						2	2				
生活空間計画論 1	講義		○						2					
生活環境心理学	講義			○					2					
生活環境緑化論 1	講義			○					2					
衣環境学 1	講義		○						2					
生活環境メカニクス 1	講義			○					2					
生活環境電子計測論 1	講義		○						2					
食環境学 1	講義		○						2					
植物環境学 1	講義		○						2					
生活環境共生論 1	講義		○						2					
生活空間計画論 2	講義			○					2					
生活環境緑化論 2	講義				○				2					
住宅設計論	講義				○				2					
生活電気・機械	講義				△		△		2					隔年
生活環境メカニクス 2	講義					○			2					
衣環境学 2	講義			○					2					
生活環境電子計測論 2	講義			○					2					
生活エネルギー機器論	講義					△		△	2					隔年
食環境学 2	講義		○						2	40				
植物環境学 2	講義			○					2					
生活環境共生論 2	講義			○					2					
ライフスタイル論 1	講義		○						2					
ライフスタイル論 2	講義			○					2					
栄養学	講義			△		△			2					隔年
食環境学実験	実験				○				2					
衣環境学実験	実験					○			2					
生活環境メカニクス実験	実験						○		2					
ヒューマンエレクトロニクス実験	実験				○				2					
植物環境学実験実習	実験実習				○				2					
食環境学実習	実習					○			2					
生活環境共生論実習	実習				○				2					
ライフスタイル論実習	実習				○				2					
生活空間計画論演習	演習						○		2					
生活環境心理学演習	演習				○				2					
生活環境緑化論演習	演習					○			2					
衣環境学演習	演習					○			2					
動作解析コンピュータ演習	演習				○				2					
植物環境学演習	演習					○			2					
生活環境共生論演習	演習					○			2					
ライフスタイル論演習	演習					○			2					

現代生活論	講義			○				2			
環境経済学	講義				○			2			
[卒業研究]											
卒業研究							◎	10	10		

注：◎ 通年授業      ○ 半期授業      △ 隔年開講授業

科目名称	授業形態	配当学期				単位数	必修・選択の別			備考				
		1年		2年			3年		4年		必修	選必	自由	
		前	後	前	後		前	後	前					後
[社会環境論コース専門科目]														
社会規範論 A	講義		○						2	14				
社会規範論 B	講義			○					2					
社会文化環境論	講義		○						2					
産業社会環境論 A	講義		○						2					
産業社会環境論 B	講義			○					2					
地域社会環境論 A	講義		○						2					
地域社会環境論 B	講義			○					2					
国際社会環境論	講義			○					2					
社会環境思想史	講義			○					2					
社会変動史	講義			△		△			2					隔年
産業構造論	講義			△		△			2					隔年
労働史	講義		△		△				2					隔年
都市地域論	講義			△		△			2					隔年
コミュニティ論	講義		△		△				2					隔年
国際平和論	講義			△		△			2				隔年	
社会政策史	講義		△		△				2				隔年	
福祉国家論	講義			△		△			2				隔年	
農村開発論	講義		△		△				2				隔年	
地域空間システム論	講義			△		△			2				隔年	
フィールドワーク実習	実習			△		△			2				隔年	
現代日本社会史	講義		○						2	44				
公共性論	講義					○			2					
家族論	講義		△		△				2					隔年
自治体論	講義			△		△			2					隔年
国際開発論	講義					○			2					
環境経済学	講義					○			2					
生活空間計画論 1	講義		○						2					
生活空間計画論 2	講義			○					2					
生活環境心理学	講義			○					2					
現代生活論	講義		○						2					
生活環境緑化論 1	講義			○					2					
生活環境緑化論 2	講義					○			2					
環境植物生態学	講義					○			2					
数理と論証	講義					○			2					
社会調査法	講義			○					2					
教育思想史	講義			○					2					
メディア論	講義					○			2					
公共性論演習 A	演習					○			2					
社会環境思想史演習 A	演習					○			2					
社会文化環境論演習 A	演習					○			2					
産業構造論演習 A	演習					○			2					

労働史演習 A	演習				○		2		2		
都市地域論演習 A	演習				○		2				
コミュニティ論演習 A	演習				○		2				
国際開発論演習 A	演習				○		2				
公共性論演習 B	演習					○	2		2		
社会環境思想史演習 B	演習					○	2				
社会文化環境論演習 B	演習					○	2				
産業構造論演習 B	演習					○	2				
労働史演習 B	演習					○	2				
都市地域論演習 B	演習					○	2				
コミュニティ論演習 B	演習					○	2				
国際開発論演習 B	演習					○	2				
[卒業研究]											
卒業研究						◎	10	10			

注：◎ 通年授業      ○ 半期授業      △ 隔年開講授業

## (5) 発達支援論コース

発達支援論コースは、どの学科にも属していない、学科横断のユニークなコースです。すべての学科から、実践的研究に関心のある学生が進学することができます。このコースでは、「ヘルスプロモーション」「子ども・家庭支援」「ボランティア社会・学習支援」「ジェンダー研究・学習支援」「障害共生支援」「労働・成人教育支援」の6つのうちのいずれかを主に選択して学び、地域のさまざまな活動と結びついた臨床的、実践的研究を行います。発達支援論コースの大きな特色のひとつは、学部で開講されるほとんどの授業を自由に選択して履修できることです。このコースでは、発達科学部の豊富な資源を活用しながら、新しい時代に挑む幅広い教養・知識・技能を身につけることで、応用的な学問領域と、発達に関わる個人・地域・学校・企業・NPOなどの実践とを橋渡しできる専門家を育てます。学問と実践との接点で、臨場感溢れる研究を指向していますので、時代のニーズに適った新しい学問が生まれる息吹を感じることができるでしょう。

科目名称	授業形態	配当学期								単位数	必修・選択の別			備考
		1年		2年		3年		4年			必修	選必	自由	
		前	後	前	後	前	後	前	後					
[発達支援論コース専門科目]														
発達支援論研究	講義			○						2	2			
発達支援論演習(ジェンダー研究・学習支援論)	演習			○						2		2		
発達支援論演習(労働・成人教育支援論)	演習			○						2				
発達支援論演習(子ども・家庭支援論)	演習			○						2				
発達支援論演習(ボランティア社会・学習支援論)	演習			○						2				
発達支援論演習(障害共生支援論)	演習			○						2				
発達支援研究法	演習				○					2	2			
[卒業研究]														
卒業研究									◎	10	10			

注：◎ 通年授業      ○ 半期授業

### 3 資格免許のための科目

次の科目は、コース専門科目とは別に資格免許のための科目（教員免許状の取得等に必要科目）として開講されるものです。開講の時期は変更される場合があります。

科目名称	授業形態	単位数	配当学期	備 考
日本国憲法	講義	2	2年後期	教員免許の必修科目
情報機器の操作	演習	1	2年後期	教員免許の必修科目
中等カリキュラム論	講義	2	2年前期	教員免許(中・高)の教職科目
保健体育科教育論A	講義	2	2年前期	教員免許:保健体育(中・高)の教職科目
保健体育科教育論B	講義	2	2年後期	教員免許:保健体育(中・高)の教職科目
保健体育科教育論C	講義	2	3年前期	開講せず
保健体育科教育論D	講義	2	3年後期	開講せず
音楽科教育論A	講義	2	2年前期	教員免許:音楽(中・高)の教職科目
音楽科教育論B	講義	2	2年後期	教員免許:音楽(中・高)の教職科目
音楽科教育論C	講義	2	3年前期	開講せず
音楽科教育論D	講義	2	3年後期	開講せず
美術科教育論A	講義	2	2年前期	教員免許:美術(中・高)の教職科目
美術科教育論B	講義	2	2年後期	教員免許:美術(中・高)の教職科目
美術科教育論C	講義	2	3年前期	開講せず
美術科教育論D	講義	2	3年後期	開講せず
理科教育論A	講義	2	2年前期	教員免許:理科(中・高)の教職科目
理科教育論B	講義	2	2年後期	教員免許:理科(中・高)の教職科目
理科教育論C	講義	2	3年前期	開講せず
理科教育論D	講義	2	3年後期	開講せず
数学教育論A	講義	2	2年前期	教員免許:数学(中・高)の教職科目
数学教育論B	講義	2	2年後期	教員免許:数学(中・高)の教職科目
数学教育論C	講義	2	3年前期	開講せず
数学教育論D	講義	2	3年後期	開講せず
家庭科教育論A	講義	2	2年前期	教員免許:家庭(中・高)の教職科目
家庭科教育論B	講義	2	2年後期	教員免許:家庭(中・高)の教職科目
家庭科教育論C	講義	2	3年前期	開講せず
家庭科教育論D	講義	2	3年後期	開講せず
社会科教育論A	講義	2	2年前期	教員免許:社会(中学校)の教職科目
社会科教育論B	講義	2	2年後期	教員免許:社会(中学校)の教職科目
社会科教育論C	講義	2	3年前期	開講せず
社会科教育論D	講義	2	3年後期	開講せず
地歴科教育論A	講義	2	2年前期	教員免許:地歴(高校)の教職科目
地歴科教育論B	講義	2	2年後期	教員免許:地歴(高校)の教職科目
地歴科教育論C	講義	2	3年前期	開講せず
地歴科教育論D	講義	2	3年後期	開講せず
公民科教育論A	講義	2	2年前期	教員免許:公民(高校)の教職科目
公民科教育論B	講義	2	2年後期	教員免許:公民(高校)の教職科目
公民科教育論C	講義	2	3年前期	開講せず
公民科教育論D	講義	2	3年後期	開講せず
教職実践演習(幼・小)	演習	2	4年後期	教員免許(幼・小)の教職科目
教職実践演習(中・高)	演習	2	4年後期	教員免許(中・高)の教職科目
初等教育事前・事後指導	実習	1	3又は4年次	教員免許(幼・小)の教職科目
初等教育実地研究	実習	4	3又は4年次	教員免許(幼・小)の教職科目

中等教育事前・事後指導	実習	1	3又は4年次	教員免許(中・高)の教職科目	
中学校教育実地研究A	実習	2	3又は4年次	教員免許(中学校)の教職科目	
中学校教育実地研究B	実習	2	3又は4年次	教員免許(中学校)の教職科目	
高校教育実地研究	実習	2	3又は4年次	教員免許(高校)の教職科目	
教育実習	実習	3	4年次	教員免許(特別支援)の教職科目	
ソルフェージュ	演習	2	2年前期	教員免許:音楽(中・高)の教科科目	
邦楽器演奏法	演習	2	3年前期	教員免許:音楽(中・高)の教科科目	
音楽理論	講義	2	1年後期	教員免許:音楽(中・高)の教科科目	
音文化論	講義	2	2年前期	教員免許:音楽(中・高)の教科科目	
工芸表現演習	演習	2	2年後期	教員免許:美術(中学校)の教科科目	
美術批評	講義	2	3年後期	教員免許:美術(中・高)の教科科目	
ヴィジュアル・デザイン	実技	2	3年前期	教員免許:美術(中・高)の教科科目	
生活情報処理演習	演習	2	2年後期	教員免許:家庭(高校)の教科科目	隔年
家庭看護	講義	2	2年前期	教員免許:家庭(高校)の教科科目	隔年
保育学	講義	2	2年前期	教員免許:家庭(中・高)の教科科目	隔年
家庭経済・経営学	講義	2	2年前期	教員免許:家庭(中・高)の教科科目	隔年
アパレル実習	実習	2	2年後期	教員免許:家庭(中・高)の教科科目	隔年
博物館概論	講義	2	2年	学芸員の必修科目(文学部開講)	
博物館経営論	講義	2	2年	学芸員の必修科目(文学部開講)	
博物館資料論	講義	2	3年前期	学芸員の必修科目	
博物館資料保存論	講義	2	2年	学芸員の必修科目(文学部・理学部開講)	
博物館展示論	講義	2	2年前期	学芸員の必修科目(国際文化学部開講)	
博物館教育論	講義	2	2年前期	学芸員の必修科目	
博物館情報・メディア論	講義	2	2年	学芸員の必修科目(文学部開講)	
博物館実習	実習	3	3・4年前期	学芸員の必修科目	

## 備考

発達科学部における教育実習の履修要件は以下である。

- (1) 小学校・幼稚園教諭免許取得希望者は「初等教育事前・事後指導」「初等教育実地研究」の2科目(計5単位), 中学校教諭免許取得希望者は「中等教育事前・事後指導」「中学校教育実地研究A」「中学校教育実地研究B」の3科目(計5単位), 高校教諭免許取得希望者は「中等教育事前・事後指導」「高校教育実地研究」の2科目(計3単位)を, いずれも同一年度において履修する。
- (2) 中学校教諭免許取得希望者が履修する3科目により, 高校教諭免許取得も可能である。
- (3) 既に「初等教育事前・事後指導」「初等教育実地研究」の2科目の単位を修得した者は, 「中等教育事前・事後指導」および「中学校教育実地研究A」または「中学校教育実地研究B」のいずれかを同一年度に履修(計3単位)することによって中学校教諭免許取得が可能となる。それによって, あわせて高校教諭免許取得も可能である。
- (4) 既に中学校ないし高校の教諭免許取得に必要な教育実習科目の単位を修得した者が小学校・幼稚園教諭免許取得を希望する場合は, 「初等教育事前・事後指導」「初等教育実地研究」の2科目(計5単位)の同一年度における履修が必要である。
- (5) 既に高校教諭免許取得に必要な教育実習科目の単位を修得した者が中学校教諭免許取得を希望する場合は, 「中学校教育実地研究A」「中学校教育実地研究B」(計4単位)の同一年度における履修が必要である。
- (6) 特別支援学校教諭免許取得希望者は「教育実習」を履修する。これに加えて, 幼稚園, 小学校, 中学校ないし高校教諭の免許を取得するための教育実習を別途履修する。

## 4 教育職員免許状取得に関する履修要項

本学部において、教育職員免許状を取得しようとするものは、卒業に必要な単位を修得するほか、教育職員免許法及び同法施行規則に定めるそれぞれの免許状に必要な科目の単位を併せて修得しなくてはならない。

### I. 本学部で取得できる教育職員免許状の種類及び免許教科

学 科 名	免 許 状 の 種 類	免 許 教 科
人 間 形 成 学 科	幼稚園教諭一種免許状	
	小学校教諭一種免許状	
	特別支援学校教諭一種免許状	
人 間 行 動 学 科	中学校教諭一種免許状	保健体育
	高等学校教諭一種免許状	保健体育
人 間 表 現 学 科	中学校教諭一種免許状	音 楽
	高等学校教諭一種免許状	音 楽
	中学校教諭一種免許状	美 術
	高等学校教諭一種免許状	美 術
人 間 環 境 学 科	中学校教諭一種免許状	理 科
	高等学校教諭一種免許状	理 科
	中学校教諭一種免許状	数 学
	高等学校教諭一種免許状	数 学
	中学校教諭一種免許状	家 庭
	高等学校教諭一種免許状	家 庭
	中学校教諭一種免許状	社 会
	高等学校教諭一種免許状	地 理 歴 史
	高等学校教諭一種免許状	公 民

備考 学生の所属コースにかかわらず、希望者はいずれの免許状も取得することができる。

ただし、所属学科を越えての免許の取得については、履修困難な面がある。

## II. 基礎資格及び最低必要単位数

区 分		基 礎 資 格	最 低 単 位 数			
			教科	教職	教科又は教職	特別
小学校	専修	修士の学位を有すること	8	41	34	
	一種	学士の学位を有すること	8	41	10	
中学校	専修	修士の学位を有すること	20	31	32	
	一種	学士の学位を有すること	20	31	8	
高等学校	専修	修士の学位を有すること	20	23	40	
	一種	学士の学位を有すること	20	23	16	
特別支援学校	専修	修士の学位を有すること及び小・中・高又は幼稚園の普通免許状を有すること				50
	一種	学士の学位を有すること及び小・中・高又は幼稚園の普通免許状を有すること				26
幼稚園	専修	修士の学位を有すること	6	35	34	
	一種	学士の学位を有すること	6	35	10	

### 備考

- (1) 「日本国憲法」(2単位, 全学共通で開講される科目), 「体育」(2単位, 健康・スポーツ科学実習Ⅰ, Ⅱとして開講される科目), 「外国語コミュニケーション」(2単位, 英語リーディングⅠ, Ⅱとして開講される科目) 及び「情報機器の操作」(2単位, うち1単位は情報基礎として開講される科目, 1単位は情報機器の操作: 資格免許のための科目の項188ページ参照) は, 必ず修得しなければならない。
- (2) 小学校, 中学校の教諭の普通免許状を取得しようとする場合には, 介護等体験が義務づけられている。本学部においては, 2年次に介護等体験を行う。
- (3) 小学校, 中学校, 高等学校及び幼稚園の一種免許状取得に必要なそれぞれの学校種別の教科又は教職に関する科目の履修については, それぞれの学校種別の「教科に関する科目」, 又は「教職に関する科目」の最低修得単位数を超えて修得した単位をもってあてる。
- (4) 専修免許状取得に必要なそれぞれの学校種別の教科又は教職に関する科目について必要な単位の履修については, 専修免許状に必要な基礎資格を得ることのできる課程(大学院修士課程等)において教科に関する科目を修得するか, 又は教職に関する科目を修得することが必要である。ただし, 必要な単位数はそれぞれの学校種別の一種免許状の「教科又は教職に関する科目」の単位数を引いた単位数である。(いずれの学校種別においても必要な単位数は24単位である。)

### Ⅲ. 教科に関する科目

#### 1. 小学校及び幼稚園

区 分	教 科 に 関 す る 科 目		最低修得単位数
小学校	国 語 (書写を含む)	1以上の科目について修得すること。	8以上
	社 会		
	算 数		
	理 科		
	生 活		
	音 楽		
	図画工作		
	家 庭		
	体 育		
幼稚園	国 語 (書写を含む)	幼一種免 国語, 算数, 生活, 音楽, 図画工作及 び体育の教科に関する科目のうち1以 上の科目について修得すること。	6以上
	算 数		
	生 活		
	音 楽		
	図画工作		
	体 育		

## 2. 中学校及び高等学校

教科及び免許		教科に関する科目	最低修得単位数
保健体育	中学校	体育実技 「体育原理, 体育心理学, 体育経営管理学, 体育社会学, 体育史」及び運動学（運動方法学を含む。） 生理学（運動生理学を含む。） 衛生学及び公衆衛生学 学校保健（小児保健, 精神保健, 学校安全及び救急 処置を含む。）	計 20
	高等学校	体育実技 「体育原理, 体育心理学, 体育経営管理学, 体育社会学, 体育史」及び運動学（運動方法学を含む。） 生理学（運動生理学を含む。） 衛生学及び公衆衛生学 学校保健（小児保健, 精神保健, 学校安全及び救急 処置を含む。）	計 20
音楽	中学校	ソルフェージュ 声楽（合唱及び日本の伝統的な歌唱を含む。） 器楽（合奏及び伴奏並びに和楽器を含む。） 指揮法 音楽理論, 作曲法（編曲法を含む。）及び音楽史（日 本の伝統音楽及び諸民族の音楽を含む。）	計 20
	高等学校	ソルフェージュ 声楽（合唱及び日本の伝統的な歌唱を含む。） 器楽（合奏及び伴奏並びに和楽器を含む。） 指揮法 音楽理論, 作曲法（編曲法を含む。）及び音楽史（日 本の伝統音楽及び諸民族の音楽を含む。）	計 20
美術	中学校	絵画（映像メディア表現を含む。） 彫刻 デザイン（映像メディア表現を含む。） 工芸 美術理論及び美術史（鑑賞並びに日本の伝統美術及び アジアの美術を含む。）	計 20
	高等学校	絵画（映像メディア表現を含む。） 彫刻 デザイン（映像メディア表現を含む。） 美術理論及び美術史（鑑賞並びに日本の伝統美術及び アジアの美術を含む。）	計 20
社会	中学校	日本史及び外国史 地理学（地誌を含む。） 「法学, 政治学」 「社会学, 経済学」 「哲学, 倫理学, 宗教学」	計 20

教科及び免許		教科に関する科目	最低修得単位数
地理歴史	高等学校	日本史 外国史 人文地理及び自然地理学 地誌	計 20
公民	高等学校	「法律学（国際法を含む。）政治学（国際政治を含む。）」 「社会学，経済学（国際経済を含む。）」 「哲学，倫理学，宗教学，心理学」	計 20
家庭	中学校	家庭経営学（家族関係学及び家庭経済学を含む。） 被服学（被服製作実習を含む。） 食物学（栄養学，食品学及び調理実習を含む。） 住居学 保育学（実習を含む。）	計 20
	高等学校	家庭経営学（家族関係学及び家庭経済学を含む。） 被服学（被服製作実習を含む。） 食物学（栄養学，食品学及び調理実習を含む。） 住居学（製図を含む。） 保育学（実習及び家庭看護を含む。） 家庭電気・機械及び情報処理	計 20
理科	中学校	物理学 物理学実験（コンピュータ活用を含む。） 化学 化学実験（コンピュータ活用を含む。） 生物学 生物学実験（コンピュータ活用を含む。） 地学 地学実験（コンピュータ活用を含む。）	計 20
	高等学校	物理学 化学 生物学 地学 「物理学実験（コンピュータ活用を含む。），化学実験（コンピュータ活用を含む。），生物学実験（コンピュータ活用を含む。），地学実験（コンピュータ活用を含む。）」	計 20
数学	中学校	代数学 幾何学 解析学 「確率論，統計学」 コンピュータ	計 20
	高等学校	代数学 幾何学 解析学 「確率論，統計学」 コンピュータ	計 20

#### IV. 教職に関する科目

第一欄	教 職 に 関 す る 科 目	免許状の種類及び単位数			
		小学校	幼稚園	中学校	高等学校
第二欄	教職の意義及び教員の役割	2	2	2	2
	教員の職務内容（研修，服務及び身分保障等を含む。）				
	進路選択に資する各種の機会の提供等				
第三欄	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	6	6	6	6
	幼児，児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児，児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）				
	教育に関する社会的，制度的又は経営的事項				
第四欄	教育課程の意義及び編成の方法	20		12	6
	各教科の指導法				
	道徳の指導法				
	特別活動の指導法				
	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	2	4		
	教育課程の意義及び編成の方法		14		
	保育内容の指導法				
	生徒指導の理論及び方法	4		4	4
	進路指導の理論及び方法				
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法				
	幼児理解の理論及び方法		2		
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法				
	第五欄	教育実習	5	5	5
第六欄	教職実践演習	2	2	2	2

#### V. 特別支援教職に関する科目

	教 科 に 関 す る 科 目	免許状の種類及び単位数
		特別支援学校
第一欄	特別支援教育の基礎理論に関する科目	2
第二欄	特別支援教育領域に関する科目	16
第三欄	免許状に定められていることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目	5
第四欄	心身に障害のある幼児，児童又は生徒についての教育実習	3

VI. 教育職員免許状取得に関する科目認定一覧

1. 小学校及び幼稚園

第1表 教科に関する科目（小学校・幼稚園一種免許状）

教科に関する科目	最低修得単位数	本学部認定授業科目	単位数	備 考
国 語 (書写を含む)	小一種免 8 単位以上 幼一種免 6 単位以上	○児童言語教育論	2	
社 会		○初等社会科教育論	2	
算 数		○算数教育論	2	
理 科		○自然教育論	2	
生 活		○生活科教育論	2	
音 楽		○音楽表現発達論	2	
図画工作		○造形表現発達論	2	
家 庭		○初等家政学概論	2	
体 育		○初等体育論	2	

備 考

- (1) ○印科目は、小学校及び幼稚園一種免許状の必修科目である。
- (2) 表中の最低修得単位数は免許法施行規則に定める単位数であり、本学部認定授業科目欄において「必修」「選択必修」「選択」の各区分で指定された科目は遺漏の無いように履修すること。

第2表 教職に関する科目（小学校・幼稚園一種免許状）

第一欄	教職に関する科目	最低修得単位数	本学部認定授業科目	単位数	備考
第二欄	教職の意義及び教員の役割	小2 幼2	◎教職論	2	
	教員の職務内容（研修、 服務及び身分保障等を含む。）				
	進路選択に資する各種 の機会の提供等				
第三欄	教育の理念並びに教育 に関する歴史及び思想	小6 幼6	◎教育学概論	2	幼一種免のみ
	幼児、児童及び生徒の 心身の発達及び学習の 過程（障害のある幼児、 児童及び生徒の心身の 発達及び学習の過程を 含む。）		◎教育心理学	2	
			△乳幼児発達論	2	
			教育に関する社会的、 制度的又は経営的事項	2 2 2	
第四欄	教育課程の意義及び編 成の方法	小20	○カリキュラム論	2	
	各教科の指導法		○国語教育方法論	2	
			○社会科教育方法論	2	
			○理科教育方法論	2	
			○算数教育方法論	2	
			○生活科教育方法論	2	
			○家庭科教育方法論	2	
			○音楽表現教育方法論	2	
			○造形表現教育方法論	2	
	○運動教育方法論		2		
道徳の指導法	○道徳教育論	2			
特別活動の指導法	○特別活動指導法	2			
教育の方法及び技術 （情報機器及び教材の 活用を含む。）	小2 幼4	教育方法学 学習指導論 授業デザイン論	2 2 2	小幼とも2科目 以上選択必修	
教育課程の意義及び編 成の方法	幼14	△幼児教育内容論	2		
保育内容の指導法		△幼児健康指導法	2		
		△幼児人間関係指導法	2		
		△幼児環境指導法	2		
		△幼児言語表現指導法	2		
		△幼児音楽表現指導法	2		
△幼児造形表現指導法	2				

第四欄	生徒指導の理論及び方法 進路指導の理論及び方法	小4	○生活指導論	2	
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		○相談心理学	2	
	幼児理解の理論及び方法	幼2	△幼児精神衛生論	2	
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		△相談心理学	2	
第五欄	教育実習	小5	◎初等教育事前・事後指導	1	
		幼5	◎初等教育実地研究	4	
第六欄	教職実践演習	小2 幼2	◎教職実践演習（幼・小）	2	

#### 備 考

- (1) ◎印科目は、小学校及び幼稚園一種免許状の指定科目（必修科目）である。
- (2) ○印科目は、小学校一種免許状の指定科目（必修科目）である。
- (3) △印科目は、幼稚園一種免許状の指定科目（必修科目）である。ただし、小学校一種免許状を併せて取得する場合、第四欄の「保育内容の指導法」の単位のうち、半数（6単位）までは、小学校教諭の免許状の授与を受ける場合の「各教科の指導法」又は「特別活動の指導法」の単位をもってあてることができる。
- (4) 教育実習は、原則として3年次に実施する。教育実習の履修要件については189ページ、教育実習履修の前提となる要件については135ページを、それぞれ参照のこと。
- (5) 表中の最低修得単位数は免許法施行規則に定める単位数であり、本学部認定授業科目欄において「必修」「選択必修」「選択」の各区分で指定された科目は遺漏の無いように履修すること。

## 2. 中学校及び高等学校

第1表 教科に関する科目  
中学校・高等学校教諭第一種免許状（保健体育）

教科に関する科目	最低修得単位数	本学部認定授業科目	単位数	備考
体育実技	中一種免 20 高一種免 20	○陸上運動方法論	1	
		○水泳系運動方法論	1	
		○球技運動方法論	1	
		舞踊運動方法論	1	
		武道系運動方法論	1	
		○野外運動方法論	2	
「体育原理，体育心理学， 体育経営管理学，体育社会学， 体育史」及び運動学（運動 方法学を含む。）		○体育・スポーツ史	2	
		○スポーツ社会学	2	
		運動処方論	2	
		○身体運動技術論	2	
		運動心理学	2	
生理学（運動生理学を含 む。）	人体構造機能論	2	いずれか2科目 選択必修	
	身体適応論	2		
	身体運動発達論	2		
衛生学及び公衆衛生学		○公衆衛生学	2	
学校保健（小児保健，精神保健， 学校安全及び救急処置を含む。）		○健康教育論	2	

### 備考

- (1) ○印科目は，中学校及び高等学校一種免許状の指定科目（必修科目）である。
- (2) 中学校一種免許状を取得する場合は，上記の科目より教科に関する科目20単位と教科又は教職に関する科目8単位を修得すること。なお，教科又は教職に関する科目8単位の修得については「教科に関する科目」又は「教職に関する科目」の最低修得単位数を超えて修得した単位をもってあてる。
- (3) 高等学校一種免許状を取得する場合は，上記の科目より教科に関する科目20単位と教科又は教職に関する科目16単位を修得すること。なお，教科又は教職に関する科目16単位の修得については「教科に関する科目」又は「教職に関する科目」の最低修得単位数を超えて修得した単位をもってあてる。

中学校・高等学校教諭第一種免許状（音楽）

教科に関する科目	最低修得単位数	本学部認定授業科目	単位数	備 考
ソルフェージュ	中一種免 20 高一種免 20	○ソルフェージュ	2	
声乐（合唱及び日本の伝統的な歌唱を含む。）		○声乐表現演習 1	2	
		○合唱表現演習	2	
器楽（合奏及び伴奏並びに和楽器を含む。）		○ピアノ演奏演習 1	2	
		○ピアノ演奏演習 2	2	
		○合奏表現演習	2	
		○邦楽器演奏法	2	
指揮法		○音楽集団活動論	2	
音楽理論，作曲法（編曲法を含む。）及び音楽史（日本の伝統音楽及び諸民族の音楽を含む。）		○音楽理論	2	
		○西洋音楽文化論	2	
	○音文化論	2		

備 考

- (1) ○印科目は，中学校及び高等学校一種免許状の指定科目（必修科目）である。
- (2) 中学校一種免許状を取得する場合は，上記の科目より教科に関する科目 20 単位と教科又は教職に関する科目 8 単位を修得すること。なお，教科又は教職に関する科目 8 単位の修得については「教科に関する科目」又は「教職に関する科目」の最低修得単位数を超えて修得した単位をもってあてる。
- (3) 高等学校一種免許状を取得する場合は，上記の科目より教科に関する科目 20 単位と教科又は教職に関する科目 16 単位を修得すること。なお，教科又は教職に関する科目 16 単位の修得については「教科に関する科目」又は「教職に関する科目」の最低修得単位数を超えて修得した単位をもってあてる。

中学校・高等学校教諭第一種免許状（美術）

教科に関する科目	最低修得単位数	本学部認定授業科目	単位数	備 考	
絵画（映像メディア表現を含む。）	中一種免 20 高一種免 20	○絵画表現	2		
		絵画表現論	2		
		メディア論	2		
		映像・メディア論演習	2		
彫刻		○立体造形	2		
デザイン（映像メディア表現を含む。）		○ヴィジュアル・デザイン	2		
		表象文化論	2		
		感性表現論 2	2		
		図学	2		
工芸		△工芸表現演習	2		(中一種免のみ)
美術理論および美術史（鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。）		立体造形論	2		
		○美術批評	2		
	デザイン史	2			
	映像論	2			
	場所の文化史	2			

備 考

- (1) ○印科目は，高等学校一種免許状の指定科目（必修科目）である。
- (2) ○，△印科目は，中学校一種免許状の指定科目（必修科目）である。
- (3) 中学校一種免許状を取得する場合は，上記の科目より教科に関する科目 20 単位と教科又は教職に関する科目 8 単位を修得すること。なお，教科又は教職に関する科目 8 単位の修得については「教科に関する科目」又は「教職に関する科目」の最低修得単位数を超えて修得した単位をもってあてる。
- (4) 高等学校一種免許状を取得する場合は，上記の科目より教科に関する科目 20 単位と教科又は教職に関する科目 16 単位を修得すること。なお，教科又は教職に関する科目 16 単位の修得については「教科に関する科目」又は「教職に関する科目」の最低修得単位数を超えて修得した単位をもってあてる。

中学校教諭第一種免許状（社会）

教科に関する科目	最低修得単位数	本学部認定授業科目	単位数	備 考	
日本史及び外国史	中一種免 20	○日本史	2		
		○外国史	2		
		社会環境思想史	2		
		現代日本社会史	2		
		社会政策史	2		
		社会変動史	2		
		労働史	2		
地理学（地誌を含む。）		○人文地理学	2		文学部開講
		○自然地理学	2		
		地域社会環境論A	2		
		地域社会環境論B	2		
		都市地域論	2		
		農村開発論	2		
		地域空間システム論	2		
		コミュニティ論	2		
フィールドワーク実習		2			
		○地誌	2		文学部開講
「法律学，政治学」		○法律学	2		
		○政治学	2		
		国際社会環境論	2		
	国際平和論	2			
	公共性論	2			
	国際開発論	2			
「社会学，経済学」	○社会学	2			
	○経済学	2			
	産業社会環境論A	2			
	産業社会環境論B	2			
	社会文化環境論	2			
	産業構造論	2			
	家族論	2			
「哲学，倫理学，宗教学」	○倫理学	2			
	社会規範論A	2			
	社会規範論B	2			

備 考

- (1) ○印科目は，中学校一種免許状の指定科目（必修科目）である。
- (2) 中学校一種免許状を取得する場合は，上記の科目より教科に関する科目 20 単位と教科又は教職に関する科目 8 単位を修得すること。なお，教科又は教職に関する科目 8 単位の修得については「教科に関する科目」又は「教職に関する科目」の最低修得単位数を超えて修得した単位をもってあてる。

高等学校教諭第一種免許状（地理歴史）

教科に関する科目	最低修得単位数	本学部認定授業科目	単位数	備 考	
日本史	高一種免 20	○日本史	2		
		現代日本社会史	2		
		社会変動史	2		
外国史		○外国史	2		
		社会環境思想史	2		
		社会政策史	2		
		労働史	2		
人文地理及び自然地理学		○人文地理学	2		
		○自然地理学	2		文学部開講
		地域社会環境論 A	2		
		地域社会環境論 B	2		
		都市地域論	2		
		農村開発論	2		
		地域空間システム論	2		
		コミュニティ論	2		
	フィールドワーク実習	2			
地誌	○地誌	2	文学部開講		

備 考

- (1) ○印科目は、高等学校一種免許状の指定科目（必修科目）である。
- (2) 高等学校一種免許状を取得する場合は、上記の科目より教科に関する科目 20 単位と教科又は教職に関する科目 16 単位を修得すること。なお、教科又は教職に関する科目 16 単位の修得については「教科に関する科目」又は「教職に関する科目」の最低修得単位数を超えて修得した単位をもってあてる。

高等学校教諭第一種免許状（公民）

教科に関する科目	最低修得単位数	本学部認定授業科目	単位数	備 考
「法学（国際法を含む。）、 政治学（国際政治を含む。）」	高一種免 20	○法学	2	国際法を含む
		○政治学	2	国際政治を含む
		国際社会環境論	2	
		国際平和論	2	
		公共性論	2	
		国際開発論	2	
「社会学，経済学（国際経 済を含む。）」		○社会学	2	
		○経済学	2	
		産業社会環境論 A	2	
		産業社会環境論 B	2	国際経済を含む
		社会文化環境論	2	
		産業構造論	2	
「哲学，倫理学，宗教学， 心理学」	○倫理学	2		
	社会規範論 A	2		
	社会規範論 B	2		
	生涯発達心理学	2		

備 考

- (1) ○印科目は，高等学校一種免許状の指定科目（必修科目）である。
- (2) 高等学校一種免許状を取得する場合は，上記の科目より教科に関する科目 20 単位と教科又は教職に関する科目 16 単位を修得すること。なお，教科又は教職に関する科目 16 単位の修得については「教科に関する科目」又は「教職に関する科目」の最低修得単位数を超えて修得した単位をもってあてる。

中学校・高等学校教諭第一種免許状（家庭）

教科に関する科目	最低修得単位数	本学部認定授業科目	単位数	備 考
家庭経営学（家族関係学及び家庭経済学を含む。）	中一種免 20 高一種免 20	○ライフスタイル論 1	2	
		ライフスタイル論 2	2	
		家庭経済・経営学	2	
		生活環境心理学	2	
		家族論	2	
被服学（被服製作実習を含む。）		○衣環境学 1	2	
		衣環境学 2	2	
		衣環境学演習	2	
		衣環境学実験	2	
		○アパレル実習	2	
食物学（栄養学，食品学及び調理実習を含む。）		○食環境学 1	2	
		食環境学 2	2	
		○栄養学	2	
		食環境学実験	2	
		○食環境学実習	2	
住居学（製図を含む。）		生活空間計画論 1	2	
		生活空間計画論 2	2	
		生活環境共生論 1	2	
		生活環境共生論 2	2	
		○住宅設計論	2	
保育学（実習及び家庭看護を含む。）	○保育学	2		
	○家庭看護	2		
家庭電気・機械及び情報処理	△生活電気・機械	2	高一種免のみ	
	△生活情報処理演習	2	高一種免のみ	

備 考

- (1) ○印科目は，中学校一種免許状の指定科目（必修科目）である。
- (2) ○，△印科目は，高等学校一種免許状の指定科目（必修科目）である。
- (3) 中学校一種免許状を取得する場合は，上記の科目より教科に関する科目 20 単位と教科又は教職に関する科目 8 単位を修得すること。なお，教科又は教職に関する科目 8 単位の修得については「教科に関する科目」又は「教職に関する科目」の最低修得単位数を超えて修得した単位をもってあてる。
- (4) 高等学校一種免許状を取得する場合は，上記の科目より教科に関する科目 20 単位と教科又は教職に関する科目 16 単位を修得すること。なお，教科又は教職に関する科目 16 単位の修得については「教科に関する科目」又は「教職に関する科目」の最低修得単位数を超えて修得した単位をもってあてる。

中学校・高等学校教諭第一種免許状（理科）

教科に関する科目	最低修得単位数	本学部認定授業科目	単位数	備 考	
物理学	中一種免 20 高一種免 20	宇宙史	2		
		○現代物理化学A	2		
		宇宙環境物理学	2		
		量子物理学	2		
		環境物理学	2		
		基本粒子物理学	1		
物理学実験 (コンピュータ活用を含む。)			○物理学実験	2	コンピュータ活用を含む。
化学			○現代物質科学	2	
			環境有機化学	2	
			現代物理化学B	2	
			無機化学	2	
			分析化学	2	
			生物有機化学	2	
化学実験 (コンピュータ活用を含む。)			○自然環境科学実験C (主として化学)	2	コンピュータ活用を含む。
生物学			○現代生命科学A	2	
			○現代生命科学B	2	
			生物環境科学	2	
			動物行動生態学	2	
			環境植物生態学	2	
			高次分子生命科学	2	
		環境遺伝学	2		
生物学実験 (コンピュータ活用を含む。)		○自然環境科学実験B (主として生物学)	2	コンピュータ活用を含む。	
地学		○環境地球科学A	2		
		○環境地球科学B	2		
		地球環境科学特別講義A	1		
		地球環境科学特別講義B	1		
		鉱物学	1		
		環境地球化学・同演習A	2		
		環境地質学・同演習1	2		
		大気環境学	2		
地学実験 (コンピュータ活用を含む。)		○自然環境科学実験A (主として地学)	2	コンピュータ活用を含む。	

備 考

- (1) ○印科目は、中学校及び高等学校一種免許状の指定科目（必修科目）である。
- (2) 中学校一種免許状を取得する場合は、上記の科目より教科に関する科目 20 単位と教科又は教職に関する科目 8 単位を修得すること。なお、教科又は教職に関する科目 8 単位の修得については「教科に関する科目」又は「教職に関する科目」の最低修得単位数を超えて修得した単位をもってあてる。
- (3) 高等学校一種免許状を取得する場合は、上記の科目より教科に関する科目 20 単位と教科又は教職に関する科目 16 単位を修得すること。なお、教科又は教職に関する科目 16 単位の修得については「教科に関する科目」又は「教職に関する科目」の最低修得単位数を超えて修得した単位をもってあてる。

中学校・高等学校教諭第一種免許状（数学）

教科に関する科目	最低修得単位数	本学部認定授業科目	単位数	備 考	
代数学	中一種免 20 高一種免 20	○代数系の基礎	2		
		応用代数学	2		
		数理と論証	2		
幾何学		○幾何系の基礎	2		
		応用幾何学 A	2		
		応用幾何学 B	2		
		幾何学Ⅲ	2		理学部開講
解析学		○解析系の基礎	2		
		応用解析学 A	2		
		応用解析学 B	2		
「確率論，統計学」		○数理統計の基礎	2		
		応用統計学 A	2		
	応用統計学 B	2			
	応用統計学 C	2			
	確率論 I	2	理学部開講		
コンピュータ	○計算機科学 A	2			
	計算機科学 B	2			
	数理と計算機	2			
	計算機数学	2			

備 考

- (1) ○印科目は，中学校及び高等学校一種免許状の指定科目（必修科目）である。
- (2) 中学校一種免許状を取得する場合は，上記の科目より教科に関する科目 20 単位と教科又は教職に関する科目 8 単位を修得すること。なお，教科又は教職に関する科目 8 単位の修得については「教科に関する科目」又は「教職に関する科目」の最低修得単位数を超えて修得した単位をもってあてる。
- (3) 高等学校一種免許状を取得する場合は，上記の科目より教科に関する科目 20 単位と教科又は教職に関する科目 16 単位を修得すること。なお，教科又は教職に関する科目 16 単位の修得については「教科に関する科目」又は「教職に関する科目」の最低修得単位数を超えて修得した単位をもってあてる。

第2表 教職に関する科目（中学校・高等学校一種免許状）

第一欄	教科に関する科目	単位数	本学部認定授業科目	単位数	備 考
第二欄	教職の意義及び教員の役割	2	◎教職論	2	
	教員の職務内容(研修、服務及び身分保障等を含む。)				
	進路選択に資する各種の機会の提供等				
第三欄	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	6	◎教育学概論	2	1科目以上 選択必修
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)		◎教育心理学	2	
	教育に関する社会的, 制度的又は経営的事項		教育制度概説 教育政策 教育行政学	2 2 2	
第四欄	教育課程の意義及び編成の方法	中12 高6	◎中等カリキュラム論	2	該当する教科教育法について2科目・4単位必修  (取得しようとする免許科目の教育論を履修すること。他教科教育論をもってかえることはできない)
	各教科の指導法		保健体育科教育論A	2	
			保健体育科教育論B	2	
			保健体育科教育論C	2	
			保健体育科教育論D	2	
			音楽科教育論A	2	
			音楽科教育論B	2	
			音楽科教育論C	2	
			音楽科教育論D	2	
			美術科教育論A	2	
美術科教育論B	2				
美術科教育論C	2				
美術科教育論D	2				
社会科教育論A	2				
社会科教育論B	2				
社会科教育論C	2				
社会科教育論D	2				
地歴科教育論A	2				
地歴科教育論B	2				
地歴科教育論C	2				
地歴科教育論D	2				
公民科教育論A	2				
公民科教育論B	2				
公民科教育論C	2				
公民科教育論D	2				

第四欄			家庭科教育論A 家庭科教育論B 家庭科教育論C 家庭科教育論D	2 2 2 2	
			理科教育論A 理科教育論B 理科教育論C 理科教育論D	2 2 2 2	
			数学教育論A 数学教育論B 数学教育論C 数学教育論D	2 2 2 2	
	道徳の指導法		○道徳教育論	2	
	特別活動の指導法		◎特別活動指導法	2	
	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)		◎教育方法学 授業デザイン論 学習指導論	2 2 2	必修 1科目以上 選択必修
生徒指導の理論及び方法 進路指導の理論及び方法	4	◎生活指導論	2		
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		◎相談心理学	2		
第五欄	教育実習	中5 高3	◎中等教育事前・事後指導	1	
			○中学校教育実地研究A ○中学校教育実地研究B	2 2	中一種免(高 一種免兼ねる)
			△高校教育実地研究	2	高一種免のみ
第六欄	教職実践演習	2	◎教職実践演習(中・高)	2	

#### 備考

- (1) ◎印科目は、中学校及び高等学校一種免許状の指定科目（必修科目）である。
- (2) ○印科目は、中学校一種免許状の指定科目（必修科目）である。
- (3) △印科目は、高等学校一種免許状の指定科目（必修科目）である。
- (4) 高等学校免許状取得にあたっては、第四欄の道徳教育に関する科目を修得しなくてもよい。
- (5) 教育実習は、原則として3年次に実施する。教育実習の履修要件については189ページ、教育実習履修の前提となる要件については135ページを、それぞれ参照のこと。
- (6) 中学校及び高等学校教諭一種免許状を取得する場合の「教科又は教職に関する科目」の単位修得については、「教科に関する科目」又は「教職に関する科目」の最低修得単位数を超えて修得した単位をもってあてため、「教科に関する科目」と「教職に関する科目」を合わせて59単位以上修得することが必要である。

### 3. 特別支援学校

第1表 特別支援教育に関する科目

	特別支援教育教科に関する科目	免許状の種類 及び単位数	本学部認定授業科目	単位数	備 考
		特別支援学校一種			
第一欄	特別支援教育の基礎理論に関する科目	2	○特別支援教育総論	2	
			特別支援教育学	2	
第二欄	特別支援教育領域に関する科目	16	○発達障害心理学 1	2	
			○発達障害心理学 2	2	
			○発達障害臨床学 1	2	
			○発達障害臨床学 2	2	
			○障害児発達学	2	
			○障害児指導学	2	
			○知的障害の心理・生理・病理演習	2	
			○心理検査法 1	2	
第三欄	免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目	5	○視覚障害児発達学	2	
			○学習障害等教育総論	2	
			○児童青年精神医学	2	
第四欄	心身に障害のある幼児，児童または生徒についての教育実習	3	○教育実習	3	

#### 備 考

- (1) ○印科目は，指定科目（必修科目）である。
- (2) 教育実習は，原則として4年次（附属特別支援学校）に実施する。135ページおよび189ページ参照。

## 5 教育職員免許以外の資格について

### (1) 学芸員の資格に関する科目

博物館法施行規則に定める科目	単位数	本学部で開講する授業科目	単位数	備 考
生涯学習概論	2	生涯学習論	2	
		社会教育論	2	
博物館概論	2	博物館概論	2	文学部開講
博物館経営論	2	博物館経営論	2	文学部開講
博物館資料論	2	博物館資料論	2	
博物館資料保存論	2	博物館資料保存論	2	文学部及び理学部開講
博物館展示論	2	博物館展示論	2	国際物文化学部開講
博物館教育論	2	博物館教育論	2	
博物館情報・メディア論	2	博物館情報・メディア論	2	文学部開講
博物館実習	3	博物館実習	3	

※博物館実習には、事前指導・学内実習・館園実習及び事後指導を含む。

学内実習は3年次，館園実習は4年次に行う。

館園実習に伴う事前指導及び事後指導は館園実習の前後に行う。

博物館実習全体の事前指導は3年次，事後指導は4年次に行う。

※博物館法第5条により，大学において博物館に関する科目を修得し，学士の学位を得た者には学芸員の資格が発生する。この証明を必要とする者は，教務学生係に証明書発行願を提出し，交付を受けること。

(2) 社会教育主事の資格に関する科目

社会教育主事講習等規定に定める科目		単位数	授 業 科 目	単位数
生涯学習概論		4	生涯学習論	2
			社会教育論	2
社会教育計画		4	社会教育計画論	2
			社会調査法	2
社会教育演習, 社会教育実習又は社会教育課題研究のうち一以上の科目		4	発達支援論演習(労働・成人教育支援論)	2
			発達支援論演習(ボランティア社会・学習支援論)	2
			発達支援論演習(障害共生支援論)	2
社 会 教 育 特 講	社会教育特講Ⅰ (現代社会と社会教育)	4	スポーツプロモーション論	2
			発達支援論研究	2
			教育学概論	2
			教育行政学	2
			エイジング論	2
			生涯発達心理学	2
			子ども発達論	2
	社会教育特講Ⅱ (社会教育活動・事業・施設)	4	生涯スポーツ論	2
			健康教育論	2
			博物館経営論	2
			博物館概論	2
			博物館資料論	2
			異文化教育論	2
			カウンセリング	2
	社会教育特講Ⅲ (その他必要な科目)	4	音楽療法論 2	2
			表現ワークショップ論	2
			都市地域論	2
			コミュニティ論	2
			公共性論	2
			エコロジー論	2
			家族論	2
福祉国家論	2			
農村開発論	2			
地域空間システム論	2			
自治体論	2			
国際開発論	2			
場所の文化史	2			
スポーツマネジメント論	2			
生活環境概論	2			

## (3) 社会福祉主事任用資格に関する科目

社会福祉主事の設置に関する法律に定める科目	本学部で開講する科目	単位数
社会福祉概論		
社会福祉事業史		
社会福祉援助技術論		
社会福祉調査論		
社会福祉施設経営論		
社会福祉行政論		
社会保障論		
公的扶助論		
児童福祉論	児童福祉論	2
家庭福祉論		
保育理論		
身体障害者福祉論		
知的障害者福祉論		
精神障害者保健福祉論		
老人福祉論		
医療社会事業論		
地域福祉論		
法学	法律学	2
民法		
行政法		
経済学		
社会政策		
経済政策		
心理学		
社会学	社会学	2
教育学	教育学概論	2
倫理学	倫理学	2
公衆衛生学	公衆衛生学	2
医学一般		
リハビリテーション論		
看護学		
介護概論		
栄養学	栄養学	2
家政学		

※ 3科目以上履修すること

## 6 交換留学制度

本学部・研究科では、下記の大学との間に協定を締結しており、選考のうえ、在学年限内で留学する交換留学制度を有しています。いずれも、留学に要する検定料・入学金・授業料が免除されます（但し、渡航費や生活費については学生の自己負担となります）。留学先で修得した単位については、一定限度本学部・研究科単位として認定されることがあります。募集については、掲示にて確認してください。

### 交換留学プログラム 部局間協定

(平成27年4月1日現在)

国名または地域名	大学名	派遣時期・期間	申請資格	申請締切	その他	問い合わせ先
発達科学部・人間発達環境科学研究科（総合人間科学研究科を含む）						
大韓民国	釜山国立大学師範学部	3月から1年間 (1学期間) 第1学期：3月上旬～6月中旬 第2学期：9月上旬～12月中旬	・出願時2年次以上の学部学生及び大学院生	10月頃		人間発達環境科学研究科教務学生係
	公州教育大学校及び教育大学院	3月から1年間 (1学期間) 第1学期：3月上旬～6月上旬 第2学期：9月上旬～12月中旬	・出願時2年次以上の学部生及び大学院生	10月頃		
	ナザレ大学再活福祉大学院	3月から1年間 (1学期間) 第1学期：3月上旬～6月上旬 第2学期：9月上旬～12月中旬	・学部4年次以上及び大学院生 (渡航時に大学院生であること)  ・社会福祉(リハビリテーション福祉)を専門とする大学院	10月頃		
中華人民共和国	華東師範大学教育科学学院、人文学院、继续教育学院、教育科学与技术学院	9月から1年間 (1学期間)	・出願時2年次以上の学部生あるいは大学院生  ・専門分野を履修希望する場合は、中国語検定(HSK)5級が必要。ただし語学履修の場合は語学条件なし。	10月頃		国際文化化学研究科教務学生係
	北京師範大学教育學院、政治學與國際關係學院、外文學院	9月から1年間 (1学期間)	・出願時2年次以上の学部生あるいは大学院生	10月頃	大学寮あり	
	浙江大学院人文学院及び伝媒と国際文化学院	9月から1年間 秋冬学期：9月上旬～1月下旬 春夏学期：2月下旬～7月上旬	・浙江大学での授業を受講できるのに必要な中国語能力を有する学部生及び大学院生	11月上旬	大学寮あり	
	香港大学	9月から1年間 または1学期間	・学部生(派遣時2年次以上)及び大学院生 ・TOEFL iBT80以上(Faculty of Lawへの派遣は97以上) ・IELTS 6.5以上 (Faculty of Lawへの派遣は7.0以上)	12月下旬	大学寮あり Buddy Programmeあり	人文学研究科教務学生係

フィリピン	サンペーダ大学	毎年6月より1年間(又は1学期間) 第1学期:6月～10月 第2学期 11月～3月	・出願時2年次以上の学部生(大学院生は要相談) ・授業を受講できる程度の英語能力を必要とする。 ・Arts and Sciences(主として社会科学系)	10月頃		人間発達環境学研究科教務学生係
	アテネオ・デ・マニラ大学	6月から1年間(1学期) 第1学期:6月～10月 第2学期:12月～4月	・学部生及び大学院生  ・TOEFL-iBT79 または IELTS6.0以上	11月上旬	大学寮あり	国際文化学研究科教務学生係
ロシア	ペンザ州立建築建設大学	9月から1年間(1学期間) 第1学期:9月～12月  第2学期:2月～5月	・学部生(派遣時2年次以上)及び大学院生 ・留学先大学において、その専門とする学問分野について学習または研究を行うに十分な語学力を有すること。 ・授業はすべてロシア語。英語での授業はありません。 ・募集分野:芸術、建築、デザイン	10月頃	大学寮有り	人間発達環境学研究科教務学生係
	モスクワ教育大学	9月または2月から1年間(1学期間) 秋学期:9月～12月 春学期:2月～5月	・学部生及び大学院生	11月上旬及び6月中旬		国際文化学研究科教務学生係
デンマーク	オーフス大学	9月から1年間(1学期間) 秋学期:9月上旬～1月下旬 春学期:2月上旬～6月下旬	・出願時2年次以上の学部生あるいは大学院生であること。  ・留学先大学において、その専門とする学問分野について学習または研究を行うに十分な語学力を有すること。 ・目安として、TOEFL:560以上(paper based test) または 83以上(internet based test)、IELTS:6.5 points 以上 ※オーフス大学への証明書類の提出は不要です。 ・8月にデンマーク語の語学研修が3週間あります。	10月頃	2014年度より募集停止中。募集を再開する際は、掲示等でお知らせします。	人間発達環境学研究科教務学生係
ドイツ	ハンブルク大学	10月または4月から1年間 第1学期:10月中旬～2月初旬 第2学期:4月初旬～7月中旬	・ハンブルク大学での授業を受講できるのに必要なドイツ語能力を有する2年次以上の学部生及び大学院生	11月上旬	大学寮あり(約€200/月)	国際文化学研究科教務学生係
オーストリア	ヨハネスケプラー大学大学院(RISC)	9月から1年間(1学期間) 冬期:10月1日～1月31日 夏期:3月1日～6月28日	・学部4年次以上及び大学院生(渡航時に大学院生であること) ・TOEIC541点以上(同等のレベル)	10月頃		人間発達環境学研究科教務学生係

フランス	リヨン高等師範学校	9月から1学期間、または1年間 秋学期：9月初旬～12月中旬 春学期：1月中旬～5月中旬	・大学院生 ・リヨン高等師範学校での授業を受講するに十分な語学能力を有する者。 人文社会科学分野：仏語 C1 以上を推奨 自然科学分野：仏語・英語 B2 以上推奨	2月頃		人文学研究科教務学生係
リトアニア	ヴァリニユスゲディミナス工科大学基礎科学部	9月から1年間 又は1学期間	・出願時学部2年次以上及び大学院生 ・募集分野：基礎科学	10月頃		人間発達環境学研究科教務学生係

※上記の他、全学協定校もあります。

交換留学制度の詳細については、下記の HP を参照してください。

<http://www.kobe-u.ac.jp/international/study-abroad-programs/exchange/index.htm>

# V 學生關係



# 1 学生の日常周知事項

## (1) 学生への通知等について

学生への通知及び連絡は、すべて公用掲示板により行いますので、定期的に掲示の内容に留意してください。また、神戸大学及び発達科学部のホームページ、うりぼーポータル（大学HPよりリンク）も定期的にチェックしてください。

### 〈1〉大学教育推進機構国際教養教育院関係掲示板（鶴甲第1キャンパスK棟1階）

- ① 全学共通授業科目等に関する事項
- ② 鶴甲第1キャンパスの学生生活に関する事項

### 〈2〉本学部掲示板（発達科学部キャンパスA棟2階等）

## (2) 証明書類の交付，発行等について

### 〈1〉学生証

学生証は学籍を証明するものですから、学生は、学生証の交付を受け、これを常時携帯し本学教職員の請求があったときは、いつでもこれを提示してください。

学生証を携帯していないときは、図書館その他の施設を利用することができないことがあります。

#### A 再交付

学生証の紛失，破損，改姓，氏名漢字の変更等又は有効期限が過ぎたときは、教務学生係へ申し出てください。

#### B 磁気データ消失

学生証の磁気データが消失した場合は、学務部教育推進課（鶴甲第1キャンパスK棟）へ磁気データの書き込みを申し出てください。

### 〈2〉学割証（学校学生生徒旅客運賃割引証），在学証明書，卒業見込証明書

JR（旅客鉄道会社）を利用して、実習・見学・帰省などで片道100km（営業キロ）を超えて旅行するときは、普通乗車券に限って旅客運賃の2割引で利用できるものです（他の鉄道・航路又はバス会社等については、事前に各社窓口を確認してください。），有効期間は発行日から3か月間です。1回の交付は2枚までとし，1人年間10枚を限度としますので計画的に使用してください。（往復乗車券を購入する場合，学割証は1枚で済みます。）

学割証（学校学生生徒旅客運賃割引証），在学証明書（和文・英文），卒業（修了）見込証明書（和文・英文），学業成績証明書（和文・英文），仮受験票については「証明書自動発行機」で交付していますので，画面表示に従い操作を行ってください。

証明書の自動発行機を使用する際には，学生証とパスワードの入力が必要です。パスワードについてはガイダンス等で説明されますが，わからない場合には教務学生係に照会してください。

仮受験票については，初期パスワードでの交付できませんので，事前にパスワードの変更を行ってください。

証明書自動発行機の設置場所・取扱時間は次のとおりです。

設 置 場 所	取 扱 時 間
国際文化学部B棟1階ホール内	午前8：40～午後5：10
発達科学部本館A棟1階（発達ホールDルーム内）	午前8：30～午後5：15
六甲台第3学舎1階学生コーナー	午前8：45～午後5：00（土曜日も稼働）
工学部玄関1階	午前8：30～午後5：30
文学部本館1階	午前9：00～午後5：15
農学部A棟1階学生ホール内	午前9：00～午後5：15
医学部医学科学生ホール1階	午前9：00～午後5：00
医学部保健学科B棟1階	午前8：30～午後6：00（水・金曜日は午後7：00まで）
海事科学部事務棟1階	午前8：30～午後5：15

ただし、土曜（六甲台は稼働）・日曜・祝日・年末年始（12月29日～1月3日）は、利用できません。

### 〈3〉人物考査書，推薦書

就職のために必要なときは，できるだけ早くキャリアサポートセンターへ願い出てください。

### 〈4〉健康診断証明書

就職等のために必要な場合は，必要とする日の前日までに保健管理センターへ申し込んでください。（午前9:00～12:00，午後1:00～4:00）

ただし，必ずしも翌日に交付できない場合があるので，注意してください。

なお，健康診断証明書は，大学で行う定期健康診断を受検した者に限り交付します。（申込み期間等については，掲示に注意してください）

なお上記以外の卒業（修了）証明書，提出機関が指定する様式の各種証明書が必要なときは，教務学生係で所定の証明書発行（交付）願により申込み，交付を受けてください。

ただし，申込日から発行まで時間がかかりますので，教務学生係の指示に従ってください。

### (3) 通学定期乗車券の購入について

通学定期券を購入する際は，利用する交通機関ごとに「通学証明書」交付願を自動発行機で出力し，必要事項を記入して，教務学生係または学生センターの担当窓口へ提出してください。

交付された「通学証明書」及び「学生証」を各交通機関の定期券発行所に持参して通学定期乗車券を購入してください。

ただし，購入できる通学定期乗車券は宿所（現住所）の最寄り駅から大学（就学学舎）の最寄り駅との間を順路により通学する場合に購入できます。

（注）バスの定期券は月単位になっているところもありますので，確認のこと。

購入の時期を誤り，不利益にならないよう注意してください。

### (4) 住所等の変更の届出について

入学時に提出した「学生登録票」の内容に変更があったときは，速やかに教務学生係へ届け出てください。

### (5) 休学，復学，退学等願出について

休学，復学，退学等について願い出る場合は，所定の用紙により事前に理由を記入して，教務学生係を通じて学部長に願い出なければなりません。なお，病気のため休学，退学を願い出る場合及び病気のため休学をした者が復学を願い出る場合は診断書の添付を必要とします。

### (6) 授業料の納付について

授業料は，毎年前期分については4月中，後期分については10月中に，口座振替（自

動引き落とし)により、納付していただきます。

#### (7) 学内掲示物について

学内で掲示物を掲示しようとするときは、学生用掲示板に掲示してください。

学生用掲示板はB棟2Fに設けていますので、お互いに譲り合って利用してください。

#### (8) 発達科学部キャンパスの施設の利用について

##### 1 発達ホール

発達ホール(Dルーム)は、学習環境改善の一環として、学生相互並びに学生・教職員の交流を深め、かつ学生・教職員の福利厚生を増進を図るため、A棟1階(玄関西側)に設置されています。利用が可能な時間帯は次のとおりです。

午前8時20分から午後9時30分までとし、土曜日、日曜日、国民の祝日に関する法律に定める休日、12月29日から1月3日までの日及びその他学部長が指定する日は利用できません。

##### 2 人間科学図書館

人間発達環境学研究科・発達科学部には神戸大学附属図書館のひとつ、人間科学図書館があります。館内の開架閲覧室には、教員による推薦図書や教科書、辞書・辞典や地図などの参考図書が並び、新着図書や雑誌のコーナーがあります。研究内容に対応した幅広い分野の図書、雑誌、AV資料などを所蔵し、学術的に貴重な図書や分野ごとの図書は三層の書庫に配架するなど、勉強・研究を行う上で使用しやすい配置になっています。閲覧室には個人用のデスクやグループで利用できる学習室が用意され、また情報検索コーナーのPCからは図書館のWebサイトを使って、情報を検索したり、Webページを閲覧したり、電子使用することができるようになっています。無線LANも利用でき、視聴覚資料のDVDなどもAVブースで視聴できます。レポート作成や論文作成の強い味方です。

図書館では専門ごとに文献検索ガイダンスを開催するなど、学部生・大学院生の学習・研究を強力にサポートしてくれています。(A棟2階)

##### 3 情報教育設備室(RIE)

RIE(リエ)と呼ばれる情報教育設備室は、自由にPC(iMac)を利用できる教室です。この教室で授業も行われますが、レポート作成や印刷にも使用できます。PCに詳しいスタッフが待機していますので、もしトラブルが発生しても安心です。PCやネットワークに関すること、神戸大学キャンパスの各所で使える「全学用無線LANサービス」の接続方法など、何でも気軽に相談することができます。(F棟158)

##### 4 国際交流サポートルーム(COTIE)

国際交流サポートルーム(COTIE)は、A棟423の中央東側にあり、相談に応じて英語学習や留学に関する情報を提供し、また、国際交流に関するセミナーやTOEIC、TOEFL対策講座等グローバル人材育成に役立つ活動を行っています。

##### 5 キャリアサポートセンター

発達科学部キャリアサポートセンターは、A棟1階D-Roomの西側にあり、そこでキャリア形成支援を行っています。「自分の人生をどう生きるか」を考えるプロセス、そのものをキャリア形成と捉え、新入生から大学院生にいたるすべての学生を対象と

して、就職活動の支援だけではなく、現在から将来へ、学生自らが勇気を持って一歩を踏み出すサポートを行っています。具体的なサポート内容は次の通りです。

1. キャリアに関する相談や質問（予約による個別面談）

※ 面談は、予約制にしていますが、急ぎのときなどは、その旨申し出てください。

2. 求人票閲覧，書籍，ビデオ，DVD 閲覧（貸し出しも可）

3. 進路に関する情報案内

6 教室，グラウンド，体育館，テニスコート

授業，大学行事，施設管理等に支障のない限り，研究，集会，スポーツ活動等のため，教室，グラウンド，体育館，テニスコートを使用することができますが，その場合，使用責任者は，使用しようとする日の3日前までに所定の使用許可願を教室以外は学務部学生支援課へ，教室の場合は発達科学部教務学生係へ提出し，許可を得なければなりません。ただし，外部団体と共催する催しについては，3か月前までに願い出なければなりません。

なお，教室の使用については，別に定めているので教務学生係に問い合わせてください。

〔学生の学校施設使用許可基準（昭和60年10月23日教授会決定）〕

① 本学部の学生・学生自治会，本学の課外活動団体が学校施設を使用する場合には原則として許可する。ただし，3日前までに願い出なければならない。

② 本学部の学生自治会，本学の課外活動団体が，外部団体と共催する催しについては，教授会が妥当と判断した場合には許可する。ただし，3か月前までに願い出なければならない。

なお，音楽棟および体育施設については，それぞれ当該教室の許可を必要とする。また，使用許可に当っては，下記の注意事項を伝達すること。

イ. 学校施設使用後は使用前の状態に必ず復帰させ，掃除，整理整頓，施錠を確認すること。

ロ. 屋外では，附近の住宅の迷惑となるような，スピーカーによる発声，音楽等は認めない。

(9) 教材用印刷機の使用について

本学舎A棟2階に印刷機を備えています。印刷機を使用する場合は，下記の注意事項に従って使用してください。

（教材用印刷機使用上の注意）

1. 教材用プリント以外の目的には使用できません。

2. 使用できる者は，本学部学生に限ります。用紙類は各自で準備してください。

3. 使用時間は，午前9時30分から午後4時30分までとします。ただし，土曜，日曜，祝日及び年末年始（12月29日～1月3日）は使用できません。

4. 使用する場合は，教務学生係で使用申込者台帳に所要事項を記入し，使用者の学生証を預けてください。

5. 共用の物品なので，使用については十分に注意し，清潔・整頓・後始末等には特に気をつけてください。

(10) 禁煙について

本学部内においては共用スペースでの喫煙は禁止します。指定された場所で喫煙してください。

(11) 車両による構内への乗入れ禁止について

本学部では、キャンパスが狭隘なため駐車余地がなく、また教育研究環境保全の維持、事故防止等により四輪車による学生の構内への乗入れは原則として禁止しています。

なお、単車による通学についても、常に危険を伴うので努めて自粛するよう要望しています。

身体上の理由により、車両の構内乗入れを必要とする者は「車両入構許可願」を教務学生係に提出して許可を受けてください。

やむを得ない理由により単車による通学をする者は、次の指定の駐輪場に駐車してください。

昼 間 午前6時30分から午後9時45分まで（グラウンド西側）

夜 間 午後8時から翌朝午前8時まで（C棟西側夜間専用駐輪場）

(12) 盗難の防止について

学部構内は多数の人が出入りしており、盗難事故もしばしば発生しています。盗難事故の被害者にならないためにも、貴重品等は必ず身につけるよう日頃から習慣づけておくことが望ましいです。

また、盗難にあったときは、ただちに教務学生係に届けてください。

(13) そ の 他

次の項目については、「平成27年度 学生生活案内」をご覧ください。

- 1 奨学制度
- 2 アルバイトの紹介
- 3 心身の健康管理
- 4 学生教育研究災害傷害保険制度
- 5 学生アカウント利用上の注意
- 6 ハラスメント



**発達科学部所在地及び電話番号**

**発達科学部教員名簿**

**六甲台地区建物配置図**

**発達科学部配置図**

**附属学校配置図**



このページはウェブでは  
公開していません。

実物の『学生便覧』での  
閲覧をお願いいたします。

## 学 生 便 覧 2015

発行 神戸大学発達科学部

〒 657-8501

神戸市灘区鶴甲3丁目11

電話 (078) 881 - 1212 大代表

印刷 能登印刷株式会社

